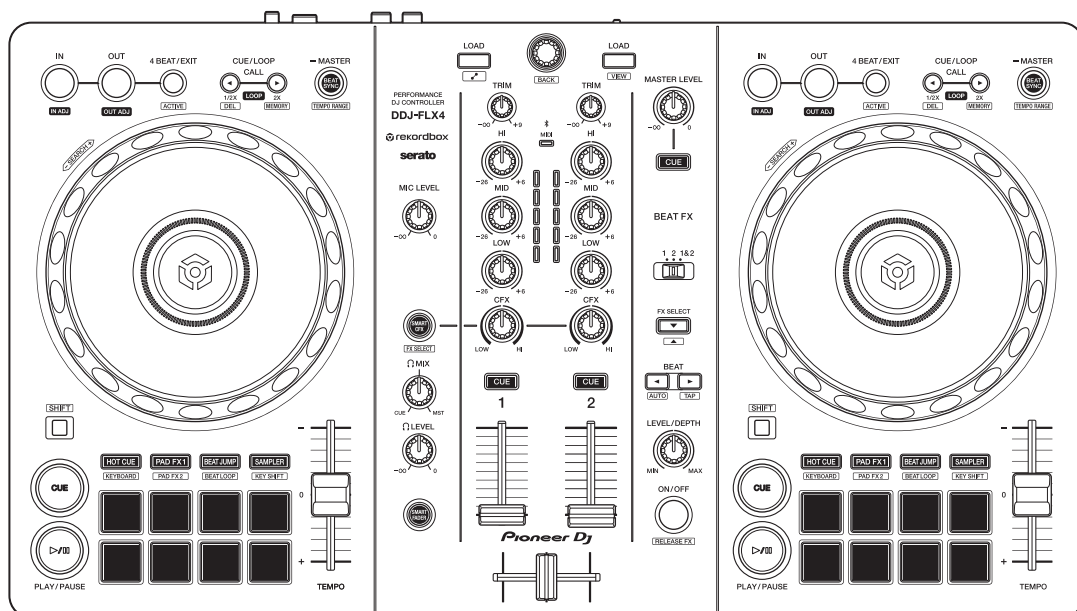


# 取扱説明書



DJコントローラー

# DDJ-FLX4

[pioneerdj.com/support/](http://pioneerdj.com/support/)

[rekordbox.com](http://rekordbox.com)

[serato.com](http://serato.com)

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

**Pioneer Dj**

**serato**

**Bluetooth®**

---

## 本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書と本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。

- 本書では、製品本体、PC/Mac 画面、およびモバイルデバイス画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。

(例：[Files]、[CUE] ボタン)

- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

---

## 付属品を確認する

- USB ケーブル
  - 保証書（一部の地域）\*
  - クイックスタートガイド
  - 使用上のご注意
- \* 欧州、北米用。（日本用は「使用上のご注意」に記載されています。）

---

---

# もくじ

|                                              |            |
|----------------------------------------------|------------|
| 本書の見かた .....                                 | 2          |
| 付属品を確認する .....                               | 3          |
| <b>はじめに .....</b>                            | <b>6</b>   |
| マニュアルを閲覧する .....                             | 6          |
| DJ ソフトウェアについて .....                          | 7          |
| <b>各部の名称とはたらき .....</b>                      | <b>10</b>  |
| 本体天面部 .....                                  | 11         |
| ブラウズ部 .....                                  | 12         |
| デッキ部 .....                                   | 15         |
| ミキサー部 .....                                  | 26         |
| エフェクト部 .....                                 | 32         |
| 本体背面部 .....                                  | 35         |
| 本体前面部 .....                                  | 37         |
| <b>接続する .....</b>                            | <b>38</b>  |
| 接続例 .....                                    | 39         |
| <b>rekordbox for Mac/Windows を使用する .....</b> | <b>45</b>  |
| rekordbox for Mac/Windows をインストールする .....    | 45         |
| 操作する（基本編） .....                              | 49         |
| 操作する（応用編） .....                              | 55         |
| rekordbox for Mac/Windows で設定を変更する .....     | 79         |
| <b>Serato DJ Lite を使用する .....</b>            | <b>82</b>  |
| Serato DJ Lite をインストールする .....               | 82         |
| 操作する（基本編） .....                              | 85         |
| 操作する（応用編） .....                              | 92         |
| <b>rekordbox for iOS/Android を使用する .....</b> | <b>106</b> |
| rekordbox for iOS/Android をインストールする .....    | 106        |
| 操作する（基本編） .....                              | 108        |
| 操作する（応用編） .....                              | 119        |
| rekordbox for iOS/Android で設定を変更する .....     | 139        |
| <b>本機の設定を変更する .....</b>                      | <b>142</b> |
| ユーティリティーモードを起動する .....                       | 142        |
| ユーティリティーモード .....                            | 143        |
| BLUETOOTH® MIDI デバイス名を変更する .....             | 145        |

|                                   |            |
|-----------------------------------|------------|
| <b>その他.....</b>                   | <b>147</b> |
| 故障かな？と思ったら .....                  | 147        |
| 仕様.....                           | 154        |
| 他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する ..... | 156        |
| 商標および登録商標について .....               | 157        |
| ソフトウェアのライセンス .....                | 158        |
| 著作権についてのご注意 .....                 | 160        |

---

---

# はじめに

---

---

## マニュアルを閲覧する

---

### rekordbox イン트로ダクション、操作説明書

「rekordbox イン트로ダクション」は、rekordbox for Mac/Windowsのセットアップ方法を記載しています。

「操作説明書」は、rekordbox for Mac/Windowsの操作方法を記載しています。

下記のrekordboxサイトをご確認ください。

[rekordbox.com/manual](https://rekordbox.com/manual)

---

### Serato DJ Lite ソフトウェアマニュアル

下記サイトをご確認ください。

[serato.com/dj/lite/downloads](https://serato.com/dj/lite/downloads)

---

## DJソフトウェアについて

---

### rekordbox for Mac/Windows

- rekordbox for Mac/Windowsは楽曲管理とDJパフォーマンスができるDJアプリケーションです。
- 本機をrekordbox for Mac/Windowsがインストールされたコンピューターに接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくてもPERFORMANCEモードの機能をご利用いただけます。この仕組みをHardware Unlockと呼びます。
- Hardware Unlockの対象機能については、下記rekordboxサイトの【サポート】から【Hardware Unlock】を参照してください。  
[rekordbox.com](https://rekordbox.com)
- rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のrekordboxサイトにアクセスして、rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアをダウンロードしてください。  
[rekordbox.com](https://rekordbox.com)
- rekordbox for Mac/Windowsの最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記rekordboxサイトの【サポート】から【動作環境】を参照してください。  
[rekordbox.com](https://rekordbox.com)
- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべてのPC/Macにおける動作を保証するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などの状態によっては、CPUやハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノートパソコンをお使いのときは、AC電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングでrekordbox for Mac/Windowsをお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- 対応OSは最新のバージョン、サービスパックをお使いください。

## Serato DJ Lite

Serato DJ Lite は、Serato Limited 社製の DJ ソフトウェアです。

Serato DJ Lite ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Lite ソフトウェアをダウンロードしてください。

[serato.com/dj/lite/downloads](http://serato.com/dj/lite/downloads)

- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  - 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力の上、**[Create account]** アイコンをクリックし、次の画面に表示された質問に答え、Serato DJ Lite ソフトウェアをダウンロードしてください。
  - ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato Limited 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。
- Serato DJ Lite の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記サイトを参照してください。

[serato.com/dj/lite/downloads](http://serato.com/dj/lite/downloads)

- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべての PC/Mac における動作を保証するものではありません。
- PC/Mac の省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型の PC/Mac では、AC 電源を接続するなど、高パフォーマンス設定で Serato DJ Lite を使用してください。

---

## rekordbox for iOS/Android

- rekordbox for iOS/Androidは、楽曲管理とDJパフォーマンスができるモバイルデバイス用のDJアプリケーションです。
- rekordbox for iOS/Androidがインストールされたモバイルデバイスと本機を、USBケーブルまたはBluetoothで接続することで、モバイルデバイスのトラックやストリーミングサービスのトラックをDJプレイすることができます。
- rekordbox for iOS/Androidは、App StoreまたはGoogle Playで最新版をインストールしてください。(106 ページ)
- rekordbox for iOSはiOS端末およびiPadOS端末に、rekordbox for AndroidはAndroid端末に対応しています。最新の対応OSと対応デバイスに関する情報は、下記rekordbox 商品サイトの【機能】から【Mobile】を参照してください。  
[rekordbox.com](https://rekordbox.com)
- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべてのモバイルデバイスにおける動作を保証するものではありません。
- 本機の電源にはUSB 電源アダプターまたはモバイルバッテリーを使用してください。

---

---

# 各部の名称とはたらき

本機は、下記DJソフトウェアに対応しています。

- rekordbox for Mac/Windows
- rekordbox for iOS/Android
- Serato DJ Lite
- Serato DJ Pro（ライセンスの購入が必要です）

ここで紹介する各部のはたらきは、rekordbox for Mac/Windowsまたはrekordbox for iOS/Androidを使用する場合とSerato DJ Liteを使用する場合に分けて記載しています。

## 「◆ rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Androidを使用する」について

rekordbox for Mac/Windowsのみ使用できる機能の説明文には **Mac/Windows** を、rekordbox for iOS/Androidのみ使用できる機能の説明文には **iOS/Android** を添えています。

どちらでも使用できる機能の説明文には上記いずれも添えていません。

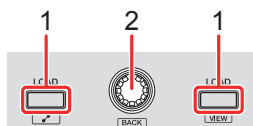
## 「◆ Serato DJ Liteを使用する」について

Serato DJ Lite の機能を基本に記載しています。

Serato DJ Proのみで使用できる機能の説明文には **Serato DJ Pro** を添えています。



## ブラウズ部



◆rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Android を使用する

### 1. LOAD ボタン

押す：

選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

#### Mac/Windows

2 回押す：

操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。

トラックが再生中の時は同じ位置から再生されます。(インスタントダブルス)

[SHIFT] + 押す：

#### Mac/Windows

デッキ1：ツリービューエリアの【関連するトラック】にカーソルが移動します。

デッキ2：rekordbox のデッキ表示を小さくして、ブラウズエリアを広く表示します。  
再度押すと、もとの表示状態に戻ります。

#### iOS/Android

デッキ1：ブラウズ画面の【関連するトラック】を表示します。

デッキ2：ブラウズ画面を表示します。

## 2. ロータリーセクター

回す：

rekordbox 内の選択カーソルが移動します。

### Mac/Windows

[SHIFT] + 回す：

rekordbox の拡大波形表示を拡大または縮小します。

右回転で拡大、左回転で縮小します。

押す：

### Mac/Windows

ボタンを押すたびに、ツリービューとトラックリストの間でカーソルが移動します。また、カーソルがフォルダーにある場合は、そのフォルダーを開きます。

- プレイリストパレットが表示されている場合は、ツリービューとトラックリストに加えてプレイリスト間もカーソルが移動する対象となります。
- ツリービュー、トラックリスト、プレイリストパレットはrekordbox のブラウズセクションにあります。それぞれの役割については、rekordboxの「操作説明書」をご覧ください。

### iOS/Android

下位階層へ移動します。

[SHIFT] + 押す：

### Mac/Windows

[SHIFT] ボタンを押しながらボタンを押すたびに、ツリービューとトラックリストの間でカーソルが移動します。また、カーソルがフォルダーにある場合は、そのフォルダーを閉じます。

### iOS/Android

上位階層へ移動します。

## ◆Serato DJ Liteを使用する

### 1. LOAD ボタン

押す：

選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

2 回押す：

操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。

トラックが再生中の時は同じ位置から再生されます。(インスタントダブルス)

[SHIFT] + 押す：

各[LOAD]ボタンを押すと、ライブラリのトラックリストをソートします。

デッキ1：BPMでソートします。

デッキ2：アーティストでソートします。

### 2. ローターセレクター

回す：

ライブラリやcratesパネルのカーソルが上下に移動します。

押す：

カーソルがcratesパネルかライブラリにある場合は、ロータリーセレクターを押すたびに、cratesパネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

カーソルが[Files]パネルにある場合は、カーソルが下位階層へ移動します。

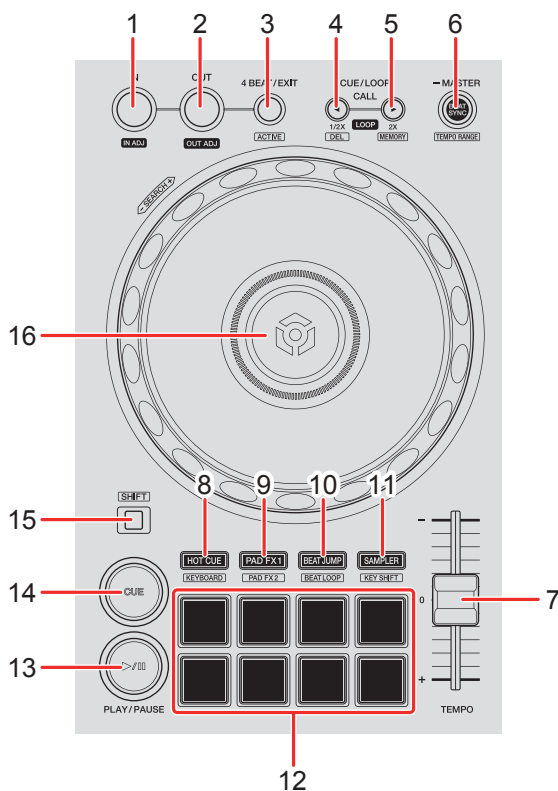
[SHIFT] + 押す：

カーソルがcratesパネルにあるときは、subcratesを開くか、または閉じます。

カーソルがライブラリにあるときは、cratesパネルへ移動します。

カーソルが[Files]パネルにある場合は、[Files]パネルのカーソルが上位階層へ移動します。

## デッキ部



### ◆rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Android を使用する

#### 1. IN ボタン

押す：

ループインポイントが設定されます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループインポイントを微調整することができます。

#### 2. OUT ボタン

押す：

ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

# 各部の名称とはたらき

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループアウトポイントを微調整することができます。

## 3. 4 BEAT/EXIT ボタン

押す：

4 拍のオートビートループを開始します。

ループ再生中に押す：

ループ再生を解除します。

[SHIFT] + 押す：

トラックに保存されているループまたはホットキューモードで設定したループのうち、再生位置にもっとも近いループをアクティブループに設定/解除します。

- アクティブループを設定しておく、再生位置が設定ポイント（ループの先頭）を通過するときに自動でループ再生を開始します。

## 4. CUE/LOOP CALL ◀ ボタン

押す：

トラックに保存されているキューポイントまたはループポイントを選択して呼び出します。

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを半分にします。

[SHIFT] + 押す：

呼び出されたキューポイントまたはループポイントが削除されます。

## 5. CUE/LOOP CALL ▶ ボタン

押す：

トラックに保存されているキューポイントまたはループポイントを選択して呼び出します。

# 各部の名称とはたらき

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを2倍にします。

**[SHIFT]** + 押す：

キュー待機中の場合は、そのキューポイントが保存されます。

ループ再生中の場合は、そのループが保存されます。

## 6. BEAT SYNC ボタン

押す：

同期用マスターに設定されているデッキのテンポ（ピッチ）およびビートグリッドに自動で合わせることができます。

ビートシンク中に押す：

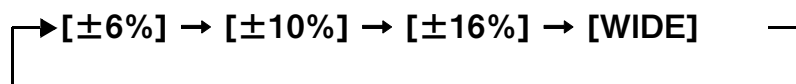
ビートシンクを解除します。

1秒以上押す：

マスターデッキを設定します。

**[SHIFT]** + 押す：

**[SHIFT]** ボタンを押しながらボタンを押すたびに、**[TEMPO]** スライダーの可変範囲が切替わります。



### iOS/Android

左右の **[BEAT SYNC]** ボタンを同時に1秒以上押す：

iOS/Android機器とのBluetooth接続を解除します。

## 7. TEMPOスライダー

トラックの再生速度を調整します。

## 8. HOT CUE モードボタン

押す：

ホットキューモードに設定します。

☞ 「HOT CUE を使う」 (57 ページ)

[SHIFT] + 押す：

キーボードモードに設定します。

☞ 「KEYBOARD モードを使う」 (64 ページ)

## 9. PAD FX1 モードボタン

押す：

パッド FX モード1 に設定します。

☞ 「PAD FX を使う」 (59 ページ)

[SHIFT] + 押す：

パッド FX モード2 に設定します。

☞ 「PAD FX を使う」 (59 ページ)

## 10. BEAT JUMP モードボタン

押す：

ビートジャンプモードに設定します。

☞ 「BEAT JUMP を使う」 (61 ページ)

[SHIFT] + 押す：

ビートループモードに設定します。

☞ 「BEAT LOOP を使う」 (65 ページ)

## 11. SAMPLERモードボタン

押す：

サンプラーモードに設定します。

☞ 「SAMPLERを使う」 (62 ページ)

**[SHIFT]** + 押す：

キーシフトモードに設定します。

☞ 「KEY SHIFTを使う」 (66 ページ)

## 12. パフォーマンスパッド

押す：

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。

☞ 「PERFORMANCE PADSを使う」 (57 ページ)

## 13. PLAY/PAUSE ▶/■ ボタン

押す：

トラックを再生／一時停止します。

## 14. CUE ボタン

押す：

キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻ったあとにボタンを押し続けると、ボタンを押し続けているあいだ、再生を続けます。(キューポイントサンプラー)

**[SHIFT]** + 押す：

再生位置がトラックの先頭へ戻ります。

## 15. SHIFT ボタン

**[SHIFT]** ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

## 16. ジョグ

### Mac/Windows

VINYL モードがオンのときに天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

### iOS/Android

天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

### Mac/Windows

外周部を回す、または VINYL モードがオフのときに天面を回す：

ピッチベント操作（再生速度の調整）ができます。

- VINYL モードは、rekordbox のショートカットキーでオン/オフできます。

### iOS/Android

外周部を回す：

ピッチベント操作（再生速度の調整）ができます。

[SHIFT] + 天面を回す：

ジョグを回す方向に高速でトラックを送ります。

## ◆Serato DJ Lite を使用する

### 1. IN ボタン

押す：

ループインポイントが設定されます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループインポイントを微調整することができます。

## 2. OUT ボタン

押す：

ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループアウトポイントを微調整することができます。

[SHIFT] + 押す：

VINYL モードをオン/オフします。

## 3. 4 BEAT/EXIT ボタン

押す：

4 拍のオートビートループを開始します。

ループ再生中に押す：

ループ再生を解除します。

[SHIFT] + 押す：

ループのアクティブ状態 / 非アクティブ状態を切替えます。

## 4. CUE/LOOP CALL ◀ ボタン

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを半分にします。

**Serato DJ Pro**

押す：

ループスロットを選択します。

## 5. CUE/LOOP CALL ▶ ボタン

ループ再生中に押す：

ループ再生の長さを2倍にします。

### Serato DJ Pro

押す：

ループスロットを選択します。

## 6. BEAT SYNC ボタン

押す：

複数のデッキのテンポ（ピッチ）およびビートグリッドを自動で合わせることが出来ます。

[SHIFT] + 押す：

[SHIFT] ボタンを押しながらボタンを押すたびに、[TEMPO] スライダーの可変範囲が切替わります。

→ [±8%] → [±16%] → [±50%] → [±8%]

1 秒以上押す：

SYNC を解除します。

## 7. TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

## 8. HOT CUE モード ボタン

押す：

ホットキューモードに設定します。

➡ 「HOT CUE を使う」 (93 ページ)

## Serato DJ Pro

[SHIFT] + 押す：

ピッチプレイモードに設定します。

➡ 「PITCH PLAYを使う」 (96 ページ)

## 9. PAD FX1 モードボタン

押す：

パッドFXモードに設定します。

➡ 「PAD FXを使う」 (94 ページ)

## Serato DJ Pro

[SHIFT] + 押す：

ロールモードに設定します。

➡ 「ROLLを使う」 (97 ページ)

## 10. BEAT JUMP モードボタン

押す：

ビートジャンプモードに設定します。

➡ 「BEAT JUMPを使う」 (95 ページ)

[SHIFT] + 押す：

オートループモードに設定します。

➡ 「AUTO LOOPを使う」 (98 ページ)

## 11. SAMPLER モードボタン

押す：

サンプラーモードに設定します。

➡ 「SAMPLERを使う」 (95 ページ)

## Serato DJ Pro

[SHIFT] + 押す：

キーシフトモードに設定します。

⇒ 「KEY SHIFT を使う」 (99 ページ)

## 12. パフォーマンスパッド

押す：

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。

⇒ 「PERFORMANCE PADS を使う」 (93 ページ)

## 13. PLAY/PAUSE ▶/⏸ ボタン

押す：

トラックを再生／一時停止します。

[SHIFT] + 押す：

テンポラリーキューポイントに戻って再生を続けます。(スタッター)

## 14. CUE ボタン

押す：

キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻ったあとにボタンを押し続けると、ボタンを押し続けているあいだ、再生を続けます。(キューポイントサンプラー)

[SHIFT] + 押す：

再生位置がトラックの先頭へ戻ります。

## 15. SHIFT ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

## 16. ジョグ

VINYL モードがオンのときに天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

外周部を回す、または VINYL モードがオフのときに天面を回す：

ピッチベント操作（再生速度の調整）ができます。

**[SHIFT]** + 天面を回す：

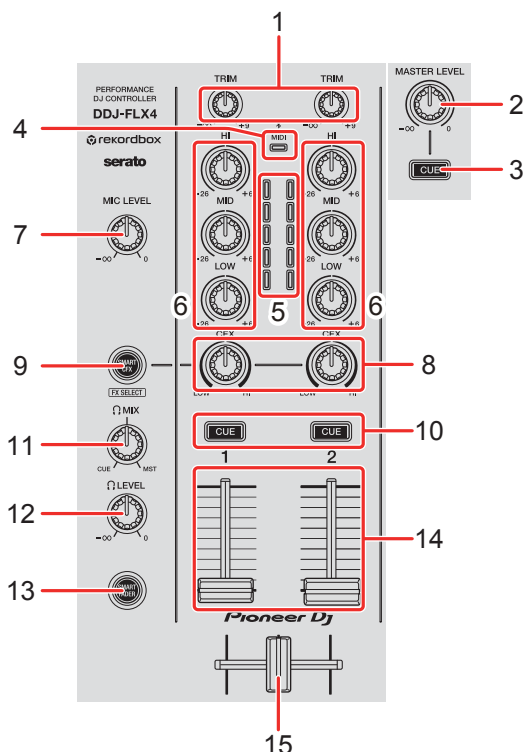
VINYL モードがオンのときにジョグを回す方向に高速でトラックを送ります。

### Serato DJ Pro

VINYL モードがオフのときにビートに同期して再生位置がスキップします。（スキップモード）

- スキップモードはビートグリッドが設定されていないトラックではお使いいただけません。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ Pro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- スキップモードを使うには、Serato DJ Pro の **[SETUP]** メニューの **[DJ PREFERENCE]** タブにある **[SYNC MODE]** を **[Smart Sync]** に切替える必要があります。

## ミキサー部



### ◆rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Android を使用する

#### 1. TRIM ノブ

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

#### 2. MASTER LEVEL ノブ

マスター出力の音声レベルを調整します。

#### 3. ヘッドホンCUE ボタン (MASTER)

押す：

マスター出力の音声ヘッドホンから出力されます。

#### 4. Bluetooth MIDI インジケーター

点滅：iOS/Android機器との間でBluetooth接続されていない状態です。

点灯：iOS/Android機器との間でBluetooth接続されている状態です。

消灯：本機がDJアプリケーションとのUSB接続を認識している状態です。

# 各部の名称とはたらき

- 本機をPC/MacのUSB 端子から給電している状態で、rekordbox for iOS/Android を使用する場合、PC/Mac上でDJ アプリケーションを起動しないでください。

## 5. チャンネルレベルインジケーター

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

## 6. EQ (HI、MID、LOW) ノブ

各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

## 7. MIC LEVEL ノブ

[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整します。

## 8. CFX ノブ

### Mac/Windows

[SMART CFX]ボタンがオフのとき：

各チャンネルに対して、SOUND COLOR FX をかけます。

ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

[SMART CFX]ボタンがオンのとき：

各チャンネルに対して、SMART CFX をかけます。

ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

### iOS/Android

[SMART CFX]ボタンがオフのとき：

常に原音が出力されます。

[SMART CFX]ボタンがオンのとき：

各チャンネルに対して、SOUND COLOR FX をかけます。

ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

## 9. SMART CFX ボタン

押す：

### Mac/Windows

SMART CFX モードをオン/オフします。

# 各部の名称とはたらき

## iOS/Android

SOUND COLOR FX をオン/オフします。

[SHIFT] + 押す：

## Mac/Windows

SMART CFX のプリセットを変更します。

## iOS/Android

SOUND COLOR FX の種類を変更します。

## 10. ヘッドホン CUE ボタン (CH)

押す：

押してあるチャンネルの音声ヘッドホンから出力されます。

## Mac/Windows

[SHIFT] + 押す：

ボタンをタップすることで各デッキのテンポを設定できます。(タップ機能)

## 11. HEADPHONES MIX ノブ

ヘッドホン [CUE] ボタンが押してあるチャンネルの音声とマスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

## 12. HEADPHONES LEVEL ノブ

ヘッドホン出力の音声レベルを調整します。

## 13. SMART FADER ボタン

SMART FADER モードをオン/オフにできます。

## 14. チャンネルフェーダー

スライドする：

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[SHIFT] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

## 15. クロスフェーダー

スライドする：

クロスフェーダーカーブ設定に従って、左右に割り当てられたチャンネルの音声を出力します。

[SHIFT] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

## ◆Serato DJ Lite を使用する

### 1. TRIM ノブ

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

### 2. MASTER LEVEL ノブ

マスター出力の音声レベルを調整します。

### 3. ヘッドホン CUE ボタン (MASTER)

押す：

マスター出力の音声ヘッドホンから出力されます。

### 4. Bluetooth MIDI インジケーター

点滅：iOS/Android機器との間でBluetooth接続されていない状態です。

点灯：iOS/Android機器との間でBluetooth接続されている状態です。

消灯：本機がDJアプリケーションとのUSB接続を認識している状態です。

### 5. チャンネルレベルインジケーター

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

### 6. EQ (HI、MID、LOW) ノブ

各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

### 7. MIC LEVEL ノブ

[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整します。

## 8. CFX ノブ

**[SMART CFX]** ボタンがオフのとき：

各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけます。

ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

左回し：

ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。

右回し：

ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

**[SMART CFX]** ボタンがオンのとき：

各チャンネルに対して SMART CFX をかけます。

ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

## 9. SMART CFX ボタン

押す：

SMART CFX モード（プリセット1）をオン/オフします。

**[SHIFT]** + 押す：

SMART CFX モード（プリセット2）をオン/オフします。

## 10. ヘッドホン CUE ボタン（CH）

押す：

押してあるチャンネルの音声ヘッドホンから出力されます。

**[SHIFT]** + 押す：

ボタンをタップすることで各デッキのテンポを設定できます。（タップ機能）

## 11. HEADPHONES MIX ノブ

ヘッドホン **[CUE]** ボタンが押してあるチャンネルの音声とマスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

## 12. HEADPHONES LEVEL ノブ

ヘッドホン出力の音声レベルを調整します。

## 13. SMART FADER ボタン

押す：

SMART FADER モード（プリセット1）をオン/オフします。

[SHIFT] + 押す：

SMART FADER モード（プリセット2）をオン/オフします。

## 14. チャンネルフェーダー

スライドする：

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[SHIFT] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

## 15. クロスフェーダー

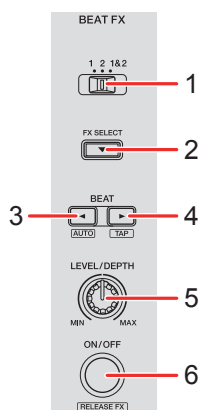
スライドする：

クロスフェーダーカーブ設定に従って、左右に割り当てられたチャンネルの音声を出力します。

[SHIFT] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

## エフェクト部



◆rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Android を使用する

### 1. BEAT FX CH SELECT スイッチ

スライドする：

BEAT FX を加えるチャンネルを切替えます。

### 2. BEAT FX SELECT ボタン

押す：

ボタンを押すたびに BEAT FX の種類がプルダウンメニューの下方向にあるエフェクトへ切替わります。

[SHIFT] + 押す：

ボタンを押すたびに BEAT FX の種類がプルダウンメニューの上方向にあるエフェクトへ切替わります。

### 3. BEAT ◀ ボタン

押す：

ボタンを押すたびに BEAT FX のエフェクト音を同期させる拍数が小さくなります。

[SHIFT] + 押す：

BEAT FX のテンポモードを BPM オートモードにします。トラックの BPM 値が BEAT FX のテンポの基準となります。

## 4. BEAT ► ボタン

押す：

ボタンを押すたびにBEAT FXのエフェクト音を同期させる拍数が大きくなります。

[SHIFT]+押す：

BEAT FXのテンポモードをBPMタップモードにします。BEAT FXの基準となるBPM値を、ボタンをタップした間隔から算出します。

## 5. BEAT FX LEVEL/DEPTH ノブ

BEAT FXの量的パラメーターを調整します。

## 6. BEAT FX ON/OFF ボタン

押す：

BEAT FXをオン／オフします。

[SHIFT]+押す：

リリースFXをオンします。

## ◆Serato DJ Lite を使用する

### 1. FX CH SELECT スイッチ

**Serato DJ Pro**

スライドする：

FX を加えるチャンネルを切替えます。

### 2. FX SELECT ボタン

押す：

ボタンを押すたびに FX の種類がプルダウンメニューの下方方向にあるエフェクトへ切替わります。

[SHIFT]+押す：

ボタンを押すたびに FX の種類がプルダウンメニューの上方向にあるエフェクトへ切替わります。

## 3. BEAT ◀ ボタン

押す：

ボタンを押すたびにFXのエフェクト音を同期させる拍数が小さくなります。

[SHIFT]+押す：

FXのテンポモードをBPM オートモードにします。トラックのBPM 値がFXのテンポの基準となります。

## 4. BEAT ▶ ボタン

押す：

ボタンを押すたびにFXのエフェクト音を同期させる拍数が大きくなります。

[SHIFT]+押す：

FXのテンポモードをBPM タップモードにします。FXの基準となるBPM値を、ボタンをタップした間隔から算出します。

## 5. FX LEVEL/DEPTH ノブ

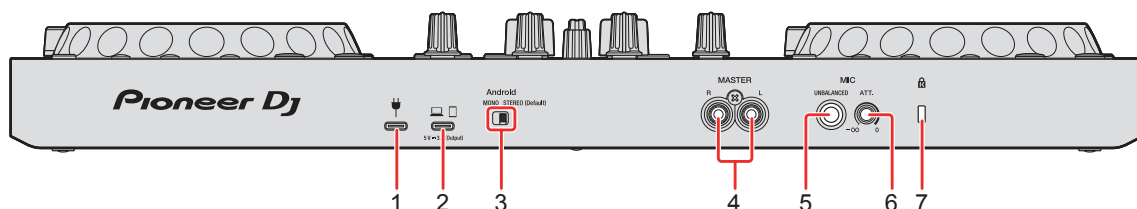
FXの量的パラメーターを調整します。

## 6. FX ON/OFF ボタン

押す：

FXをオン／オフします。

## 本体背面部



### 1. USB端子（電源専用）

USB電源アダプター（市販品）またはモバイルバッテリー（市販品）と接続します。

- 接続に必要なケーブルは、USB認証品を使用してください。
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。

### 2. USB端子（デバイス接続用）

PC/Mac/iOS/Android機器と接続します。

- 接続するUSBケーブルは、必ず下記のケーブルを使用してください。
  - USB Type-C端子を持つ機器との接続：本製品に付属のケーブル
  - USB Type-A端子を持つ機器との接続：長さ3 m以下のUSB認証品ケーブル
  - Lightning端子を持つ機器との接続：長さ3 m以下のApple認証品ケーブル
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。

### 3. Android MONO/STEREO スイッチ

Android端末接続時、音声の出力方式を変更します。

- 一部のAndroid端末でステレオ出力が正常に行われず、MASTER出力音声が乱れヘッドホン音声が無音になる場合があります。その際、本スイッチでモノラル出力を選択すると正しく音声を出力できる場合があります。
- **[MONO]**スイッチ選択：モノラル出力になります。
- **[STEREO (Default)]**スイッチ選択：ステレオ出力になります。（初期設定）

### 4. MASTER出力端子（RCAピンジャック）

パワードスピーカーやパワーアンプなどを接続します。

- RCAピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

## 5. MIC入力端子（1/4” TS ジャック）

マイクを接続します。

- フォーンプラグ（1/4” ／ 6.35 mm ）のみに対応しています。
- アンバランス入力のみに対応しています。

## 6. MIC ATT.（アッテネーター）ノブ

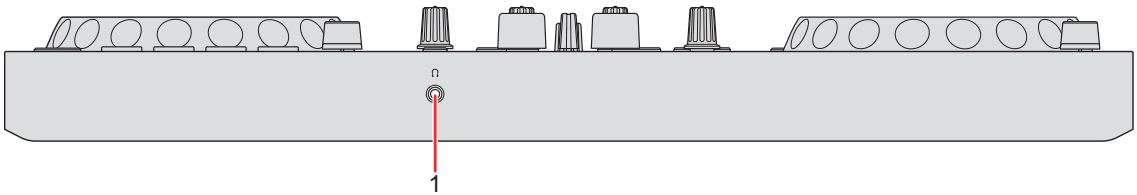
[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整します。

- マイク本体に入力される音声の増幅量（ゲイン）は、お使いになるマイクによって大きく異なります。本体背面の **[MIC ATT.]** ノブは、DJ プレイ前にお使いのマイクに合わせて音声レベルを調整するときに使います。DJ プレイ中は、本体天面の **[MIC LEVEL]** ノブを使ってマイクの音量を調節します。

## 7. ケンジントンロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着するための穴です。

## 本体前面部



### 1. Ω(ヘッドホン) 出力端子

ヘッドホンを接続します。

ステレオミニフォンプラグ（3.5 mm）に対応しています。

- インピーダンスが32 Ω以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが32 Ωより小さいヘッドホンには対応していません。

---

---

# 接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、USB ケーブルを抜いてから行ってください。  
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- PC/Mac およびモバイルデバイスと接続する USB ケーブルは、必ず下記のケーブルを使用してください。
  - USB Type-C 端子を持つ機器との接続：本製品に付属のケーブル
  - USB Type-A 端子を持つ機器との接続：長さ 3 m 以下の USB 認証品ケーブル
  - Lightning 端子を持つ機器との接続：長さ 3 m 以下の Apple 認証品ケーブル
- USB ハブを使用する場合は、お使いの PC/Mac のメーカー推奨製品をご利用ください。
- PC/Mac と組み合わせて使用する場合、USB ケーブルで本機と接続するだけで使用できます (USB バスパワー)。ただし、以下のような場合に、USB バスパワーで動作しないことがあります。
  - PC/Mac 本体の USB 端子の電源供給能力が不足している。
  - PC/Mac に他の USB 機器を接続している。
  - インピーダンスが 32  $\Omega$  より小さいヘッドホンを接続している。
  - ヘッドホン出力端子にモノラルプラグを接続している。
- モバイルデバイスと組み合わせて使用する場合、電源として、USB 電源アダプターまたはモバイルバッテリーを使用することができます。
- Micro USB Type-B 端子を持つモバイルデバイスは、Bluetooth で接続してください。  
USB ケーブルで接続するときは、動作の保証はできません。
- USB 端子（電源専用）に USB 電源アダプターやモバイルバッテリーを接続する場合、最大電圧 24V 以下、かつ DC 9V 3A に対応したものを使用してください。  
接続に必要なケーブルは、USB 認証品を使用してください。  
モバイルバッテリーは、省電力機能のないものをお使いください。
- **[MIC]** 入力端子は、アンバランス入力のみに対応しています。  
マイクを使わないときは、**[MIC LEVEL]** ノブで音量を最小にしてください。

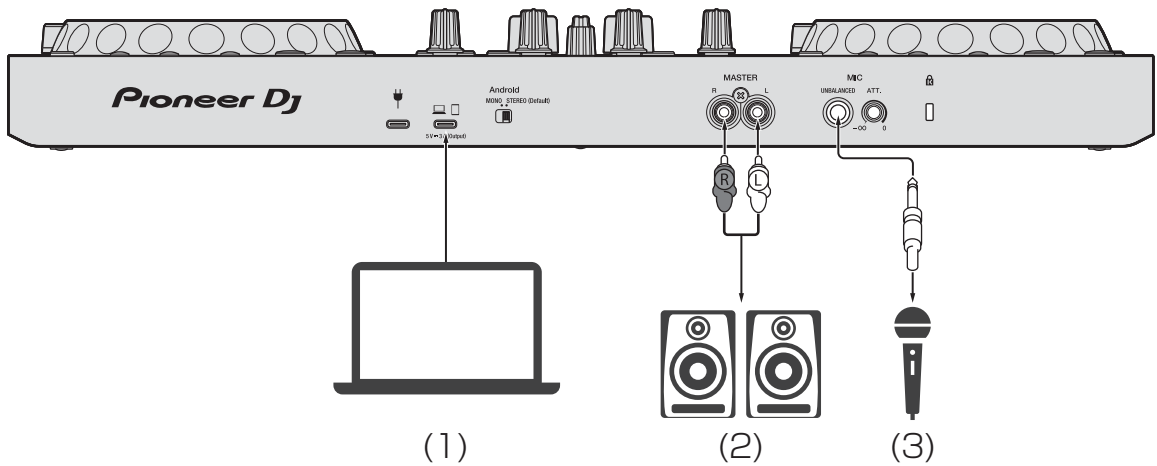
## 接続例

### 入出力端子に接続する

#### 本体背面部

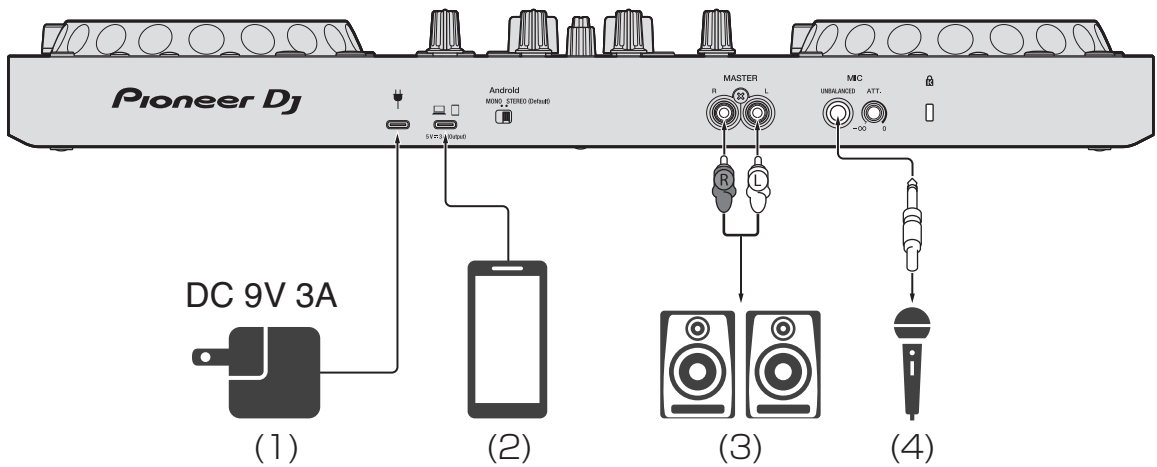
#### ◆ PC/Mac と組み合わせて使用する場合

- (1) PC/Mac
- (2) パワースピーカー、パワーアンプなど
- (3) マイク



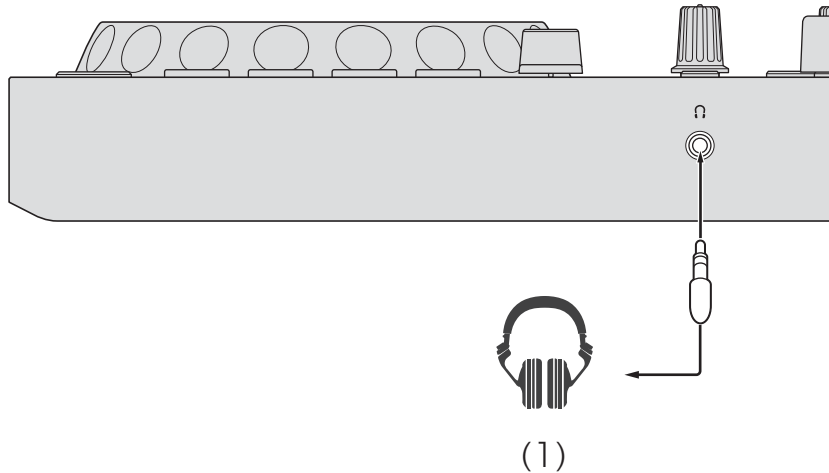
## ◆ モバイルデバイスと組み合わせて使用する場合

- (1) USB電源アダプター、モバイルバッテリー
- (2) モバイルデバイス
- (3) パワースピーカー、パワーアンプなど
- (4) マイク



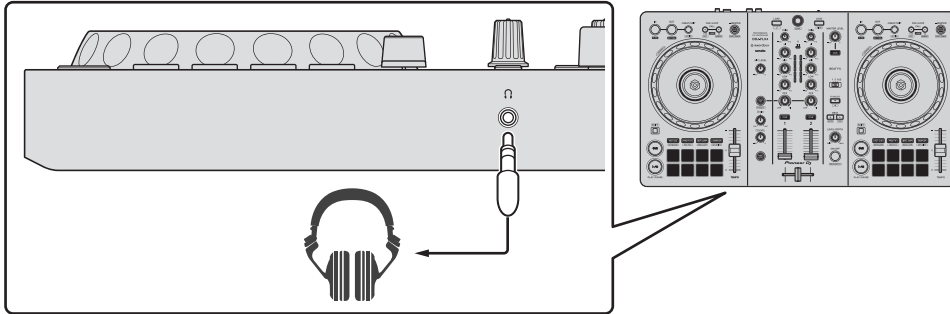
## 本体前面部

- (1) ヘッドホン



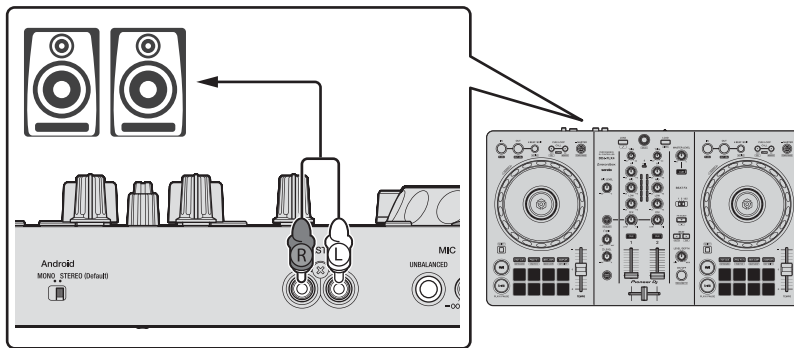
## 接続の手順

### 1 ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続する

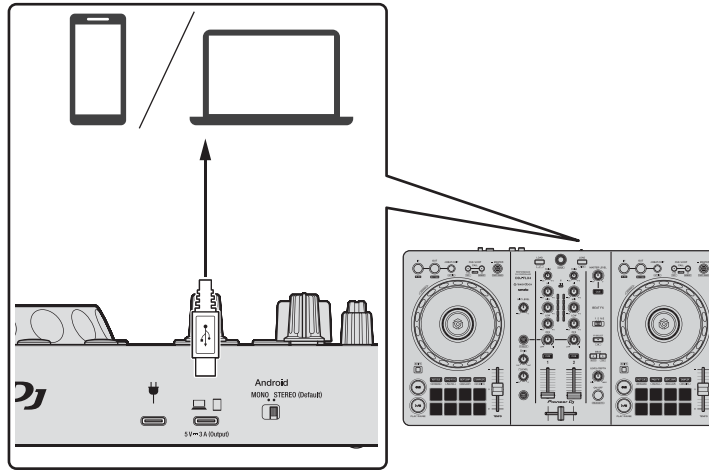


- インピーダンスが32  $\Omega$  以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが32  $\Omega$  より小さいヘッドホンには対応していません。

### 2 [MASTER]出力端子にパワードスピーカー、パワーアンプなどの機器を接続する



- 3 USB端子（デバイス接続用）にPC/Mac、モバイルデバイスをUSBケーブルで接続する**

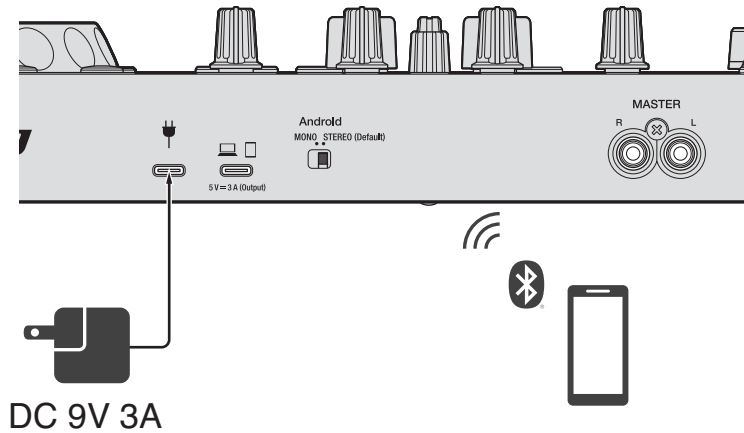


- 4 PC/Mac、モバイルデバイスの電源をオンにする**
- 5 USB端子（電源専用）にUSB電源アダプター、モバイルバッテリーを接続する（モバイルデバイスと組み合わせて使用する場合）**
- 6 入出力端子に接続された機器（パワースピーカー、マイクなど）の電源を入れる**

## Bluetoothで接続する

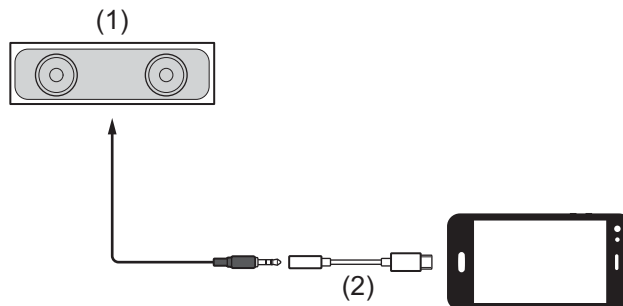
本機はモバイルデバイスとBluetoothで接続することができます。

この場合音声は本機から出力されませんので、モバイルデバイスと音声出力機器を接続するケーブルを別途ご用意の上ご使用ください。



### 音声出力機器の接続例 1

この接続例の場合は、マスター音声ステレオで出力されます。ヘッドホンモニター用音声は出力されません。

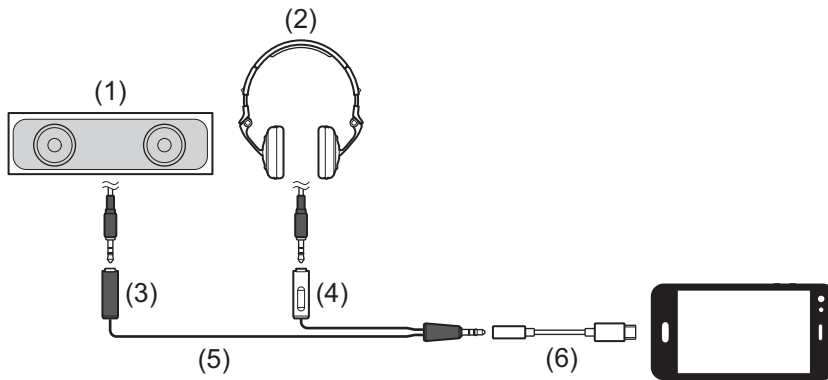


(1) アンプ内蔵スピーカーなど

(2) USB/Lightning to 3.5 mm ヘッドホンジャック（市販品）

## 音声出力機器の接続例 2

この接続例の場合は、マスター音声およびヘッドホンモニター用音声はモノラルで出力されます。



- (1) アンプ内蔵スピーカーなど
- (2) ヘッドホン
- (3) アンプ内蔵スピーカーなどの接続用端子
- (4) ヘッドホン接続用端子
- (5) スプリットケーブル（市販品）
- (6) USB/Lightning to 3.5 mm ヘッドホンジャック（市販品）

Bluetooth接続する際は、rekordbox for iOS/Android上で設定する必要があります。

➡ 「rekordbox for iOS/Android を起動する」（108 ページ）

---

---

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

---

---

## rekordbox for Mac/Windows をインストールする

---

### rekordbox for Mac/Windows を準備する

rekordbox for Mac/Windows をはじめてお使いになるお客様は、本手順に従って最新版の rekordbox for Mac/Windows をインストールしてください。

rekordbox for Mac/Windows を既にインストールされているお客様は、rekordbox for Mac/Windows 起動時に表示されるアップデートマネージャーから最新版にアップデートしてください。

- PC/Mac、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

---

### インストール手順について

お客様がお使いになる PC/Mac のオペレーティングシステム（OS）により、インストールの手順が異なります。

#### ❖ インストール手順（Mac）

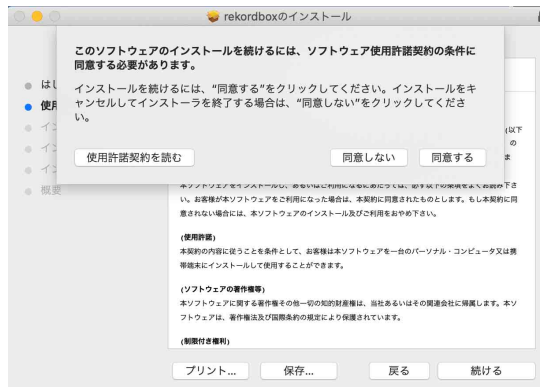
インストールが完了するまでは、本機と Mac を接続しないでください。

- Mac 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

- 1 ダウンロードした rekordbox for Mac/Windows ソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

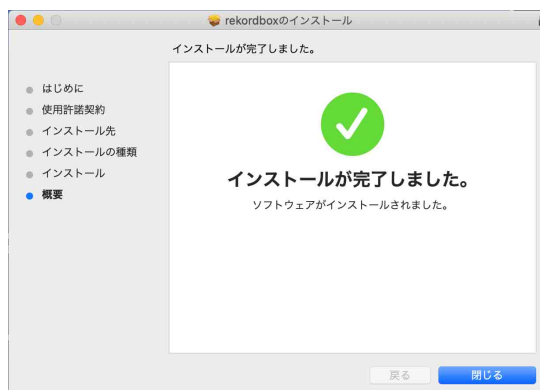
# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは[同意しない]をクリックしてインストールを中止してください。

## 4 インストール完了画面が表示されたら、[閉じる]をクリックして rekordbox for Mac/Windows インストーラを終了させる



# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## ❖ インストール手順（Windows）

インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。

- PCの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- PCで他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

- 1 ダウンロードしたrekordbox for Mac/Windowsソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる
- 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意します]を選択し、[次へ]をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[キャンセル]をクリックしてインストールを中止してください。

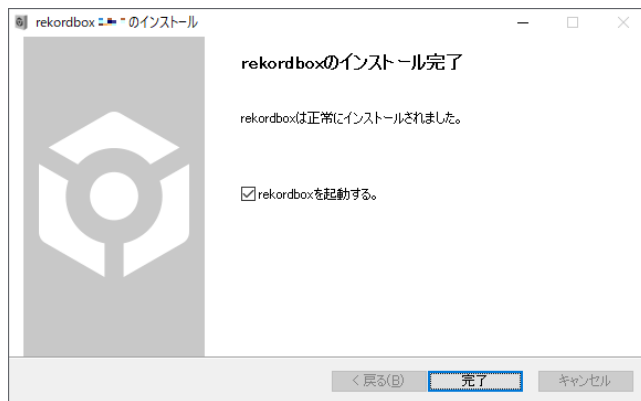
# rekordbox for Mac/Windows を使用する

- インストール先を指定後、インストールが始まります。



インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

## 4 [完了]をクリックしてrekordbox for Mac/Windows インストーラーを終了させる



以上でインストールは完了です。

## 操作する（基本編）

---

### rekordbox for Mac/Windows を起動する

rekordbox for Mac/Windows を使用するためには、Pioneer DJ アカウントを登録する必要があります。

詳細は rekordbox イン트로ダクションをご覧ください。

#### Mac のとき

Finder で **[アプリケーション]** を選び、**[rekordbox 6]** フォルダーをクリックしたあと、rekordbox.app をダブルクリックする。

#### Windows 11 のとき

**[スタート]** メニューから、**[すべてのアプリ] > [Pioneer] > [rekordbox 6]** のアイコンをクリックする

#### Windows 10 のとき

**[スタート]** メニューから、**[Pioneer] > [rekordbox 6]** のアイコンをクリックする

## オーディオ設定を確認する

rekordbox for Mac/Windowsの【環境設定】内にある【オーディオ】設定が下記の通りに設定されていることをご確認ください。

### Mac のとき

【オーディオ】：[DDJ-FLX4]

【出力チャンネル】：

    【Master Output】：[DDJ-FLX4 : MASTER + Mac内のオーディオデバイス名]

    【Headphones Output】：[DDJ-FLX4 : PHONES]

- PC MASTER OUT がオフの場合は、【オーディオ】設定内の【Master Output】の項目が [DDJ-FLX4 : MASTER] になります。

### Windows のとき

【オーディオ】：[DDJ-FLX4 WASAPI]

【出力チャンネル】：

    【Master Output】：[DDJ-FLX4 WASAPI : MASTER + PC内のオーディオデバイス名]

    【Headphones Output】：[DDJ-FLX4 WASAPI : PHONES]

- PC MASTER OUT がオフの場合は、【オーディオ】設定内の【Master Output】の項目が [DDJ-FLX4 WASAPI : MASTER] になります。
- PC MASTER OUT は、PC/Macのスピーカーからマスター音声を出力する機能です。初期設定ではPC MASTER OUTはオンになっています。
- PC/Macのスピーカーからマスター音声を出力させたくない場合は、右上の  をクリックして消灯の状態にしてください。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

---

## 楽曲ファイルを [コレクション] に追加する

[コレクション]とは、rekordbox for Mac/Windowsが管理する楽曲ファイル一覧を表示する画面です。

PC/Mac内にある楽曲ファイルを rekordbox for Mac/Windowsの楽曲コレクションとして登録し、解析することで、rekordbox for Mac/Windowsでそのトラックを使用できます。

### 1 ツリービューの[コレクション]をクリックする

[コレクション]内に登録されているトラックリストが表示されます。

### 2 FinderまたはWindowsエクスプローラーを開いて、楽曲ファイルや楽曲ファイルを含むフォルダーをトラックリストにドラッグ&ドロップする

楽曲ファイルが[コレクション]に追加され、楽曲ファイルの解析が始まります。すべての楽曲ファイルの解析が終わるまでお待ちください。

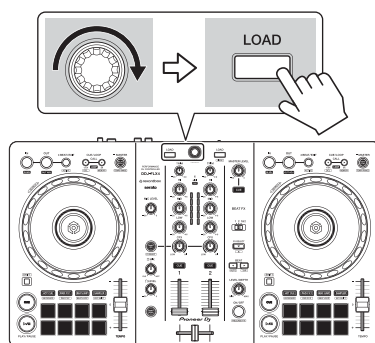
---

## トラックをデッキにロードする

以下では、デッキ1 (左側)にトラックをロードする方法を例にして説明します。

ロータリーセクターを回して、[コレクション]内のトラックを選択し、デッキ1 (左側)の[LOAD]ボタンを押す

トラックがデッキにロードされます。



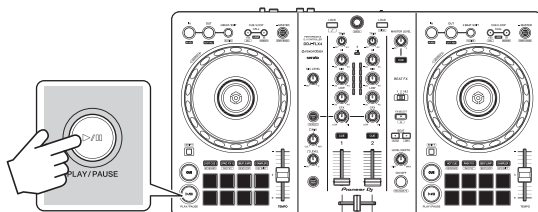
## トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

### 1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

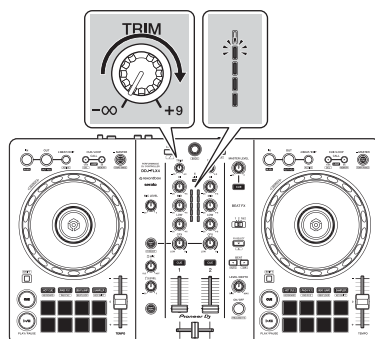
- [TRIM] ノブ：左に回しきった位置
- EQ [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [CFX] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [MASTER LEVEL] ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

### 2 [PLAY/PAUSE ▶/⏸] ボタンを押してトラックを再生する



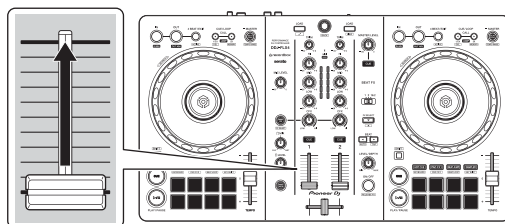
### 3 [TRIM] ノブを回す

チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータが、ピークレベルで点灯するように、[TRIM] ノブを調整してください。



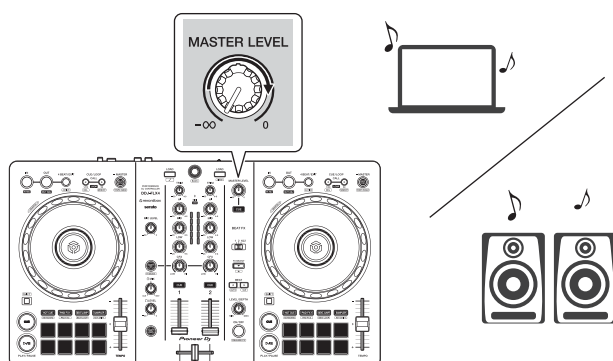
# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## 4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



## 5 [MASTER LEVEL] ノブを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[MASTER]出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- PC/Macのスピーカーから音声出力する場合は、**[MASTER LEVEL]**ノブではなく、PC/Macのスピーカーの音量を調節してください。
- **[MASTER]**出力端子から音声が出力されないときや、本機をPC/Macに接続しても認識しないときなどは、Pioneer DJサポートページへアクセスして、**[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

[pioneerdj.com/support/](http://pioneerdj.com/support/)

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

---

## ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

### 1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

- [HEADPHONES MIX] ノブ：中心位置
- [HEADPHONES LEVEL] ノブ：左に回しきった位置

### 2 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す

### 3 [HEADPHONES LEVEL] ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

---

## rekordbox for Mac/Windows を終了する

[×]ボタンをクリックする、またはメニューから[ファイル]>[終了]を選ぶ

---

## 本機の電源をオフにする

USBケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

## 操作する（応用編）

---

### 4 BEAT LOOP を使う

#### 再生中に[4 BEAT/EXIT]ボタンを押す

ボタンを押した位置から4拍のループが自動で開始され、ループ再生を始めます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

#### ❖ ループ再生を解除する

#### [4 BEAT/EXIT]ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

### MANUAL LOOP を使う

指定した区間を繰り返し再生できます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

#### 1 再生中に、ループ再生を始めたい位置（ループインポイント）で [IN] ボタンを押す

ループインポイントが設定されます。

#### 2 ループ再生を終わりたい位置（ループアウトポイント）で [OUT] ボタンを押す

ループ再生が始まります。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## ❖ ループを分割する

### ループ再生中に [CUE/LOOP CALL◀] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが半分に分割されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを半分に分割することができます。

## ❖ ループを延長する

### ループ再生中に [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが2倍に延長されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを2倍に延長することができます。

## ❖ ループ再生を解除する

### [4 BEAT/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

## ❖ ループ再生の開始位置を変更する

### ループ再生中に [IN] ボタンを押し、ジョグを回す

ループインポイントの位置が移動します。

## ❖ ループ再生の終了位置を変更する

### ループ再生中に [OUT] ボタンを押し、ジョグを回す

ループアウトポイントの位置が移動します。

## PERFORMANCE PADS を使う

### ❖ HOT CUE を使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。またホットキューのほかに、ループを設定し瞬時に呼び出すこともできます。

- rekordbox for Mac/Windows では、ホットキューポイントは1曲につき、16か所まで設定および保存できますが、本機からは8か所まで設定および保存することができます。

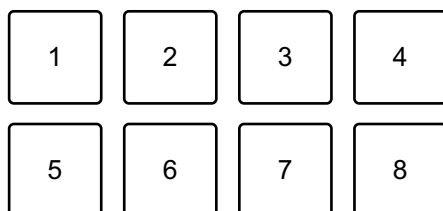
### HOT CUE を設定して呼び出す

#### 1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

#### 2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、  
5：ホットキュー E、6：ホットキュー F、7：ホットキュー G、8：ホットキュー H

#### 3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## 4 BEAT LOOP を設定して呼び出す

### 1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

### 2 再生中に [4 BEAT/EXIT] ボタンを押す

ボタンを押した位置から4拍のループが設定されて、ループ再生を始めます。

### 3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

### 4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

## MANUAL LOOP を設定して呼び出す

### 1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

### 2 再生中に [IN] ボタンを押して、[OUT] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

### 3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

### 4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## ❖ PAD FXを使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

### 1 パッドFXモード1またはパッドFXモード2に切替える

- パッドFXモード1: **[PAD FX1]** モードボタンを押します。
- パッドFXモード2: **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[PAD FX1]** モードボタンを押します。

エフェクトが以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

**[SHIFT]** ボタンを押さないとき (パッドFXモード1)

1: エフェクトA、2: エフェクトB、3: エフェクトC、4: エフェクトD、  
5: エフェクトE、6: エフェクトF、7: エフェクトG、8: エフェクトH

**[SHIFT]** ボタンを押したとき (パッドFXモード1)

1: エフェクトI、2: エフェクトJ、3: エフェクトK、4: エフェクトL、  
5: エフェクトM、6: エフェクトN、7: エフェクトO、8: エフェクトP

**[SHIFT]** ボタンを押さないとき (パッドFXモード2)

1: エフェクトQ、2: エフェクトR、3: エフェクトS、4: エフェクトT、  
5: エフェクトU、6: エフェクトV、7: エフェクトW、8: エフェクトX

**[SHIFT]** ボタンを押したとき (パッドFXモード2)

1: エフェクトY、2: エフェクトZ、3: エフェクトAA、4: エフェクトAB、  
5: エフェクトAC、6: エフェクトAD、7: エフェクトAE、8: エフェクトAF

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## 2 パフォーマンスパッドを押し続ける、または[SHIFT]ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

## 3 パフォーマンスパッドから指を離す

エフェクトがオフになります。

## PAD FXのRELEASE FXを使う

あらかじめリリースFXをパフォーマンスパッドに割り当ててする必要があります。

## 1 リリースFX以外のエフェクトが割り当てられたパフォーマンスパッドを押し続ける、または[SHIFT]ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

## 2 リリースFXが割り当てられたパフォーマンスパッドを押してから離す、または[SHIFT]ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押してから離す

それまでオンになっていたエフェクトがオフになり、リリースFXの効果が付加されます。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## ❖ BEAT JUMP を使う

再生中のトラックのリズムを崩さずに瞬時に再生位置を移動できます。

### 1 [BEAT JUMP] モードボタンを押す

ビートジャンプモードに切替わります。

ジャンプする拍数設定が以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(初期状態)

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1: ビートループ1拍 (左方向)、2: ビートループ1拍 (右方向)、  
3: ビートループ2拍 (左方向)、4: ビートループ2拍 (右方向)、  
5: ビートループ4拍 (左方向)、6: ビートループ4拍 (右方向)、  
7: ビートループ8拍 (左方向)、8: ビートループ8拍 (右方向)

### 2 [SHIFT] ボタンを押しながらパッド7またはパッド8を押して、パフォーマンスパッドに割り当てる拍数を変更する

[SHIFT] ボタンを押しながらパッド7を押すと、各パッドに割り当てられる拍数が小さくなります。

[SHIFT] ボタンを押しながらパッド8を押すと、各パッドに割り当てられる拍数が大きくなります。

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
|  |  |   |   |
|  |  | 7 | 8 |

7: 拍数ダウン、8: 拍数アップ

### 3 パッド1、パッド3、パッド5、またはパッド7を押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、再生位置が左方向へ移動します。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## 4 パッド2、パッド4、パッド6、またはパッド8を押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、再生位置が右方向へ移動します。

### ❖ SAMPLERを使う

サンプラーのサンプラースロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

### SAMPLERを使う準備をする

rekordbox for Mac/Windows の画面左上  ボタンをクリックして [SAMPLER] パネルを表示する

### トラックをサンプラースロットにロードする

#### 1 [SAMPLER] モードボタンを押す

サンプラーモードに切替わります。

#### 2 rekordbox for Mac/Windows の画面上の [BANK] 表示横のボタンをクリックしてサンプラーのバンクを切替える



rekordbox for Mac/Windows のサンプラーは4つのバンクがあり、それぞれのバンクには16のスロットがあります。

#### 3 ロータリーセクターを押して、カーソルをトラックリストへ移動する

#### 4 ロータリーセクターを回す

サンプラースロットへロードしたいトラックを選択します。

#### 5 [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押す

選択されたトラックがサンプラースロットにロードされます。

- rekordbox for Mac/Windows の [環境設定] によっては、既にロード済みのサンプラー スロットへ上書きでロードできない場合があります。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## PERFORMANCE PADS を使って SAMPLER を演奏する

### 1 [SAMPLER] モードボタンを押す

サンプラーモードに切替わります。

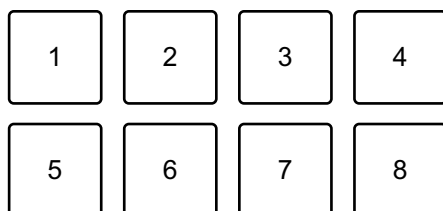
### 2 rekordbox for Mac/Windows の画面上の [BANK] 表示横のボタンをクリックしてサンプラーのバンクを切替える

### 3 rekordbox for Mac/Windows の画面上のサンプラーゲイン [GAIN] を調節する

### 4 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- サンプラーズロットは以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(括弧内はデッキ 2 のパッドモードがサンプラーモードのとき)



1：スロット1（スロット9）、2：スロット2（スロット10）、  
3：スロット3（スロット11）、4：スロット4（スロット12）、  
5：スロット5（スロット13）、6：スロット6（スロット14）、  
7：スロット7（スロット15）、8：スロット8（スロット16）

### 5 サンプラー再生中にパフォーマンスパッドを押す

先頭に戻って再生を続けます。

### 6 サンプラー再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

再生中のスロットの音声を停止します。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## ❖ KEYBOARD モードを使う

パフォーマンスパッドを使って、キーボード（鍵盤）のようにホットキューに音階をつけることができます。

### 1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[HOT CUE] モードボタンを押す

キーボードモードに切替わります。

### 2 パフォーマンスパッドを押す

キーボードモードで使用するホットキューを選択します。

- ホットキューが設定されていない場合は、現在の再生位置がホットキューとして設定され、設定したホットキューを選択後にキーボードモードで使用されます。
- キーボードモードで使用するホットキューを選びなおすときは、[SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE] モードボタンを押します。

キーボードモードで使用するホットキューが選択されると、音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。（初期状態）

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1 : +4 セミトーン、2 : +5 セミトーン、3 : +6 セミトーン、4 : +7 セミトーン、  
5 : ±0 セミトーン、6 : +1 セミトーン、7 : +2 セミトーン、8 : +3 セミトーン

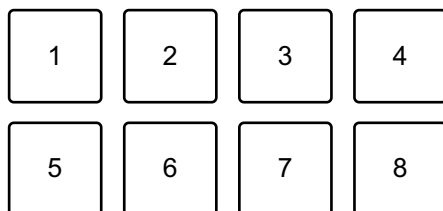
セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

### 3 [SHIFT] ボタンを押しながらパッド7またはパッド8を押して、パフォーマンスパッドに割り当てる音の高さの設定を変更する

- [SHIFT] ボタンを押しながらパッド7を押すと、ページが切替わりパッドに割り当てる音の高さが上がります。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパッド8を押すと、ページが切替わりパッドに割り当てる音の高さが下がります。



1～6：ホットキュー削除、7：ページの切替え、8：ページの切替え

## 4 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さでホットキューが再生されます。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパッド1からパッド6のいずれかを押すと、キーボードモード用に選択したホットキューを削除できます。

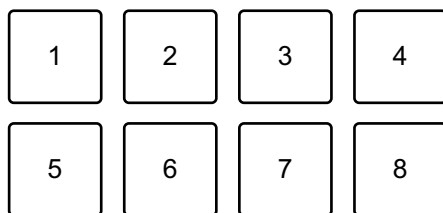
## ❖ BEAT LOOP を使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドから指を離してもループ再生を継続します。

### 1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[BEAT JUMP]** モードボタンを押す

ビートループモードに切替わります。

ビートループモードの拍数設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：ビートループ1/4拍、2：ビートループ1/2拍、3：ビートループ1拍、  
4：ビートループ2拍、5：ビートループ4拍、6：ビートループ8拍、  
7：ビートループ16拍、8：ビートループ32拍

### 2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループ再生します。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## 3 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す

ループ再生が解除されます。

### ❖ KEY SHIFT を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パッドに割り当てられた音の高さで再生中のトラックのキー（調）が変わります。

## 1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SAMPLER] モードボタンを押す

キーシフトモードに切替わります。

音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。（初期状態）

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

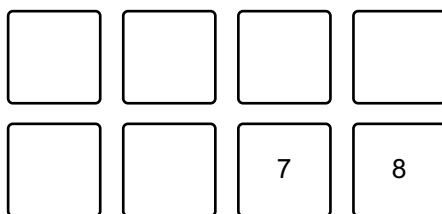
1：+4 セミトーン、2：+5 セミトーン、3：+6 セミトーン、4：+7 セミトーン、  
5：±0 セミトーン、6：+1 セミトーン、7：+2 セミトーン、8：+3 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

## 2 [SHIFT] ボタンを押しながらパッド7またはパッド8を押して、パフォーマンスパッドに割り当てる音の高さの設定を変更する

- [SHIFT] ボタンを押しながらパッド7を押すと、ページが切替わりパッドに割り当てる音の高さが上がります。
- [SHIFT] ボタンを押しながらパッド8を押すと、ページが切替わりパッドに割り当てる音の高さが下がります。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する



7：ページの切替え、8：ページの切替え

## 3 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さで、再生中のトラックのキー（調）が変わります。

## キューポイントを設定する・呼び出す

### ❖ キューポイントを設定する

ロード中のトラックにキューポイントまたはループポイントを設定することができます。

- 1 キューポイントを設定したい位置に再生位置を移動する
- 2 一時停止状態で [CUE] ボタンを押す
- 3 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

手順2で設定されたキューポイントが保存されます。

- ループを組んだ状態で [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE/LOOP CALL ▶] ボタンを押すと、ループポイントが保存されます。

### ❖ キューポイントを呼び出す

設定したキューポイントまたはループポイントを呼び出すことができます。

[CUE/LOOP CALL◀] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

キューポイントまたはループポイントが呼び出されます。

### ❖ キューポイントを削除する

設定されたキューポイントまたはループポイントを削除することができます。

- 1 [CUE/LOOP CALL◀] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

削除したいキューポイントまたはループポイントを呼び出します。

- 2 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE/LOOP CALL◀] ボタンを押す

呼び出されたキューポイントまたはループポイントを消去できます。

## FADER START 機能を使う

### ❖ CH FADER START 機能を使う

#### 1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

#### 2 [SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります (バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

### ❖ CROSSFADER START 機能を使う

#### 1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

#### 2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

#### 3 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります (バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

---

## トラックを解析する

rekordbox for Mac/Windowsのトラックリストに楽曲ファイルまたは楽曲ファイルの入ったフォルダーをドラッグ&ドロップすると、トラックの解析が始まります。

- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPMや波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

---

## BEAT FXを使う

BEAT FXはデッキにロードしたトラックのテンポ（BPM）にあわせてエフェクトをかけることができます。

1 rekordbox for Mac/Windowsの画面左上の  ボタンをクリックしてエフェクトパネルを表示し、 をクリックしてマルチモードに設定する

2 [BEAT FX SELECT] ボタンを押す

BEAT FXの種類がプルダウンメニューの下方向にあるエフェクトへ切替わります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらボタンを押すと、BEAT FXの種類がプルダウンメニューの上方向にあるエフェクトへ切替わります。

3 [BEAT FX CH SELECT] スイッチをスライドする

BEAT FXを加えるチャンネルを選択します。

— [1]：チャンネル1の音声にBEAT FXを加えます。

— [2]：チャンネル2の音声にBEAT FXを加えます。

— [1&2]：チャンネル1およびチャンネル2の音声にBEAT FXを加えます。

BEAT FXのユニット1とユニット2で拍やエフェクトの種類などが同期します。ただし、デッキにロードしているトラックのBPMの違いにより拍の設定値が同期しない場合があります。

また、エフェクトがシングルモードに設定されているときは同期しません。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## 4 [BEAT◀] ボタンまたは[BEAT▶] ボタンを押す

エフェクト音を同期させる拍数（またはパラメータ）を設定します。

## 5 [BEAT FX ON/OFF] ボタンを押す

手順3で設定したチャンネルの音声にBEAT FXがかかります。

[BEAT FX LEVEL/DEPTH] ノブを回すと、BEAT FXの量的パラメーターを調節できます。

BEAT FXをオンにしているとき、[BEAT FX ON/OFF] ボタンが点滅します。

- [BEAT FX ON/OFF] ボタンをもう一度押すと、BEAT FXがオフになります。

## 6 [SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT FX ON/OFF] ボタンを押してから離す

それまでオンになっていたBEAT FXがオフになり、リリースFXの効果が付加されます。

## ❖ BEAT FXのテンポモードを切替える

rekordbox for Mac/WindowsのBEAT FXのテンポを設定する方法として、「BPMオートモード」と「BPMタップモード」の2つのモードがあります。

- 初期状態はBPMオートモードに設定されています。

### BPMオートモード

トラックのBPM値がエフェクトのテンポの基準となります。

### BPMタップモード

エフェクトの基準となるBPM値を、[SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT▶] ボタンを指でタップした間隔から算出します。

### BPMオートモード／BPMタップモードを切替える

[SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT▶] ボタンを押すと、BPMタップモードへ切替わります。[SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT◀] ボタンを押すと、BPMオートモードへ切替わります。

## SMART CFX を使う

### 1 [SHIFT] ボタンを押しながら [SMART CFX] ボタンを押す

SMART CFX 機能のプリセット画面が表示され、エフェクトの種類を切替えることができます。



### 2 [SMART CFX] ボタンを押す

SMART CFX 機能をオンします。

### 3 [CFX] ノブを回す

ノブを回す操作に合わせて、エフェクトなどの効果が変化します。

- エフェクトの種類によってはエフェクトの他にループやキーを変化させるものもあります。
- SMART CFX 機能がオンの間は、rekordbox for Mac/Windows の画面で操作出来ない機能(一部のエフェクト、トリム)があります。

### ❖ SMART CFX を終了する

[SMART CFX] ボタンを押す

SMART CFX 機能をオフします。

## SMART FADER を使う

### 1 デッキ1とデッキ2にトラックをロードする

### 2 [SMART FADER] ボタンを押す

SMART FADER 機能をオンします。

- SMART FADER 機能がオンの間は、ビートシンクがオンに設定されます（オフできません）。
- SMART FADER 機能がオンの間は、rekordbox for Mac/Windows の画面で操作出来ない機能（一部のエフェクト、EQ LOW、ビートシンク）があります。

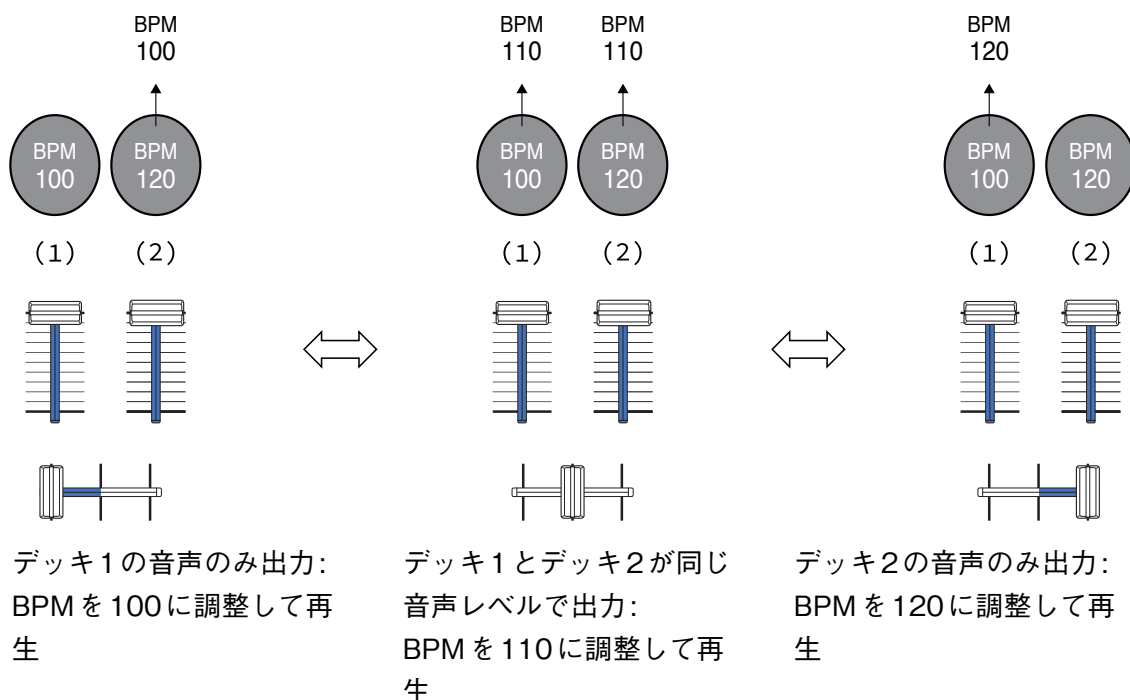
### 3 チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作して楽曲をミックスする

- フェーダー操作およびトラックのBPMに応じて、再生するときのBPMを調整します。
- フェーダー操作に応じて、EQ LOWを自動調整します。
- フェーダー操作に応じて、自動でECHOエフェクトをかけます。
- フェーダー操作によってデッキ1の音声のみ出力されているときは、デッキ1のトラックのBPMに、デッキ2の音声のみ出力されているときは、デッキ2のトラックのBPMに調整されます。また、デッキ1とデッキ2が同じ音声レベルで出力されているときは、デッキ1とデッキ2のトラックの中間のBPMに調整されます。
- デッキ1とデッキ2のBPMが大きく離れているときに、テンポレンジ範囲外となりSMART FADER機能が正しく動作しない場合があります。

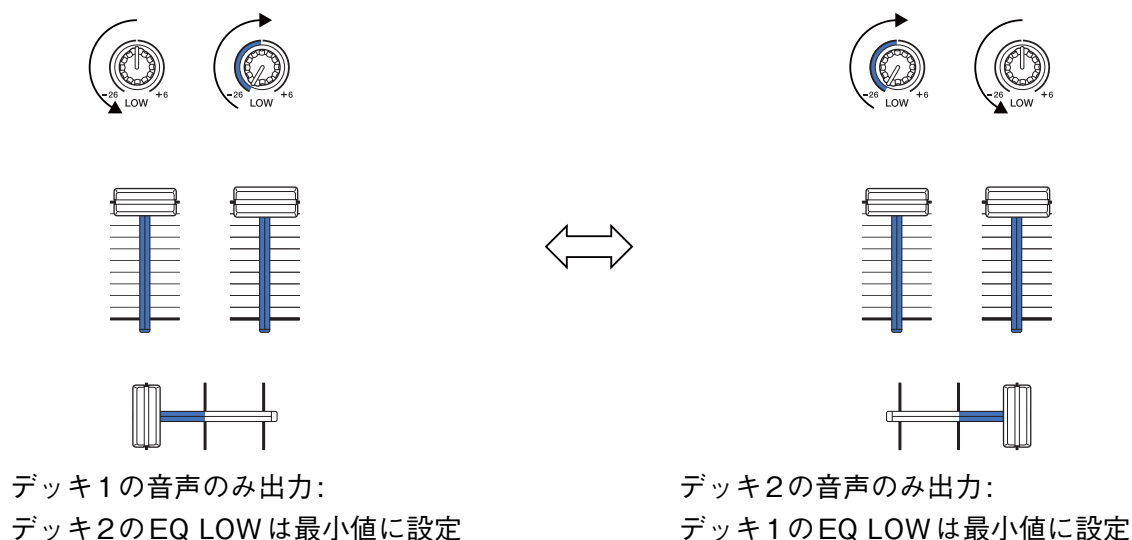
# rekordbox for Mac/Windows を使用する

- 操作例

(1): デッキ1、(2): デッキ2



本操作例の場合は、100～120の間で線形に変化します。



# rekordbox for Mac/Windows を使用する

本操作例の場合は、以下のように変化します。

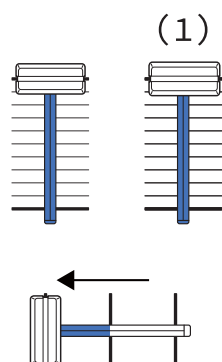
チャンネル1：クロスフェーダー位置が左から1/3～2/3の間にあるとき、EQ LOWのノブの位置がセンター位置から最小値へ変化

チャンネル2：クロスフェーダー位置が左から1/3～2/3の間にあるとき、EQ LOWのノブの位置が最小値からセンター位置へ変化

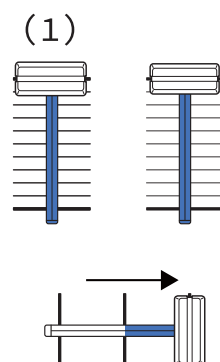
※EQ LOWの変化カーブは直前のEQ LOWのノブ位置やフェーダー位置によって異なり、スムーズにミックスができるように自動でコントロールされます。

※実際のEQ LOWのノブ位置はrekordbox for Mac/Windowsの画面では変化せず、音声のみが変化します。

## (1)：ECHO をかける



デッキ1の音声のみ出力：  
デッキ2のトラックにECHO  
をかける



デッキ2の音声のみ出力：  
デッキ1のトラックにECHO  
をかける

本操作例の場合は、以下のように変化します。

デッキ1：クロスフェーダーを右端へ移動させたときにECHOがかかります。

※右端を起点に左方向へ移動したときにはECHOはかかりません。

デッキ2：クロスフェーダーを左端へ移動させたときにECHOがかかります。

※左端を起点に右方向へ移動したときにはECHOはかかりません。

- **【環境設定】**にて、SMART FADER機能进行操作するフェーダーを選択できます。  
**【コントローラー】>【ミキサー】>【SMART FADER】>【SMART FADERで使用するフェーダー】**
- クロスフェーダーでSMART FADER機能进行操作するときは、クロスフェーダーアサインを左側をチャンネル1、右側をチャンネル2に設定しておく必要があります。  
クロスフェーダーアサインについてはrekordboxの「操作説明書」をご覧ください。

[rekordbox.com/manual](http://rekordbox.com/manual)

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## ❖ SMART FADER を終了する

[SMART FADER] ボタンを押す

SMART FADER 機能をオフします。

---

## 録音機能を使う

rekordbox for Mac/Windows には録音機能があり、ミックスした音を録音することができます。

詳しい録音方法は、rekordbox の「操作説明書」をご覧ください。

1 rekordbox for Mac/Windows の画面左上  ボタンをクリックして [REC] パネルを表示する

2 rekordbox for Mac/Windows の [REC] パネルの  をクリックして、録音を開始する

-  を再びクリックすると、録音が停止されます。
- 録音が完了すると、自動でファイルが保存されます。
- ファイルの保存先は rekordbox for Mac/Windows の **[環境設定]** > **[コントローラー]** > **[録音]** タブから変更することができます。
- rekordbox for Mac/Windows の **[Mic 入力]** の設定を **[低レイテンシーモード]** にしている場合は、本機の **[MIC]** 入力端子から入力された音声は録音できません。**[MIC]** 入力端子から入力された音声を録音するには、rekordbox for Mac/Windows の **[Mic 入力]** の設定を **[エフェクトモード]** にしてください。

## マイクを使う

### 1 [MIC]入力端子にマイクを接続する

### 2 rekordboxの画面左上の ボタンをクリックしてミキサーパネルを表示し、**MIC ON** をクリックしてオンにする

- マイク音声をPC/Macを経由して本機から出力する場合、本手順が必要です。マイク音声をPC/Macを経由せずに本機から出力する場合は本手順は不要です。

### 3 [MIC LEVEL]ノブを回して[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整する

- 右に回しすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

### 4 マイクに音声を入力する

マイク音声をPC/Macを経由して本機から出力する場合、マイクEQ、マイクFX、TALKOVER、FEEDBACK REDUCERなどの機能が利用できます。



- マイク音声をPC/Macを経由して本機から出力するにはrekordbox for Mac/Windowsの**【Mic入力】**の設定を**【エフェクトモード】**にしてください。➡「**【Mic入力】の設定**」(80 ページ)
- rekordbox for Mac/Windowsの**【Mic入力】**の設定を**【低レイテンシーモード】**にしている場合は、マイクの音声はPC/Macを経由せずに本機から出力されます。

以下に上記設定による機能の違いを示します。

- MIC LEVEL ノブ
  - PC/Macを経由する：有効
  - PC/Macを経由しない：有効
- Master出力に足されるマイク音のリミッター
  - PC/Macを経由する：有効
  - PC/Macを経由しない：無効

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

- マイクEQ
  - PC/Mac を経由する：有効
  - PC/Mac を経由しない：無効
- マイクFX（マイクのエフェクト）
  - PC/Mac を経由する：有効
  - PC/Mac を経由しない：無効
- TALKOVER
  - PC/Mac を経由する：有効
  - PC/Mac を経由しない：無効
- FEEDBACK REDUCER
  - PC/Mac を経由する：有効
  - PC/Mac を経由しない：無効

マイク機能については、rekordboxの「操作説明書」をご覧ください。

[rekordbox.com/manual](https://rekordbox.com/manual)

## rekordbox for Mac/Windows で設定を変更する

DJ プレイに必要な設定を rekordbox for Mac/Windows 上で変更することができます。

**【環境設定】**の**【コントローラー】**内にある設定項目で変更します。

rekordbox for Mac/Windows と本機を接続した場合のみ、以下の設定を変更することができます。

**【コントローラー】**内の**【デッキ】**タブ内：

**【バックスピンレングス】**の設定

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

- **【ショート】**：バックスピンレングス ショート
- **【ノーマル】**：バックスピンレングス ノーマル
- **【ロング】**：バックスピンレングス ロング

**【コントローラー】**内の**【ミキサー】**タブ内：

**【フェーダースタート】**の設定

フェーダースタート機能の設定を変更します。

**【SHIFT ボタンを押しながらチャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作した時にフェーダースタート動作する】**にチェックを入れると有効になります。

**【クロスフェーダー】**の**【リバーズ】**の設定

クロスフェーダーの左右を切替えることができます。

**【有効】**：クロスフェーダーの左側が**【DECK2】**、右側が**【DECK1】**になります。

**【無効】**：クロスフェーダーの左側が**【DECK1】**、右側が**【DECK2】**になります。

**【クロスフェーダー】**の**【Cut Lag】**の設定

クロスフェーダー両端の遊び（カットラグ）を調整することができます。

0.3 mm から 5.5 mm まで 0.1 mm 単位で調整することができます。

- 初期設定では、1.0 mm に設定されています。
- カットラグの数値は目安であり、この数値通りではない場合があります。

**【Level Meter】**の設定

ミキサー部にあるレベルメーターにチャンネルレベルメーターまたはマスターレベルメーターどちらを表示するかを設定することができます。

- 初期設定時は、**【Channel Level】**に設定されています。

# rekordbox for Mac/Windows を使用する

**[Channel Level]**：チャンネルレベルメーターの情報を表示します。

**[Master Level]**：マスターレベルメーターの情報を表示します。

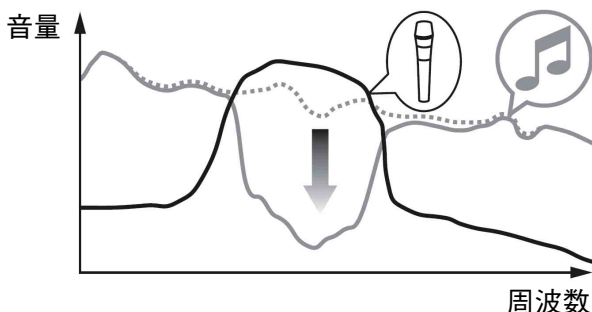
## [Mic入力]の設定

- **[エフェクトモード]**：マイク音声をPC/Mac を経由して本機から出力することができます。これにより、マイク音声にrekordbox for Mac/WindowsのマイクFXなどの効果を加えることができます。
- **[低レイテンシーモード]**：マイク音声をPC/Mac を経由せずに本機から出力することができます。これにより、マイク音声にrekordbox for Mac/WindowsのマイクFXなどの効果を加えることができませんが、エフェクトモードに比べて音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが低減できます。

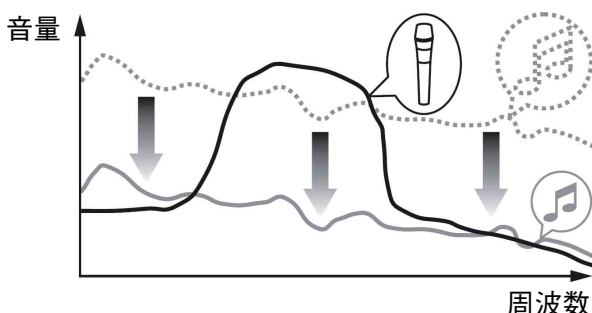
## [Talkoverモード]の設定

トークオーバーモードを切り替えます。

- **[Advanced]**：マイクチャンネル以外の音声（音楽・効果音）が、トークオーバーレベルの設定値に従って中音域だけ減衰して出力されます。



- **[Normal]**：マイクチャンネル以外の音声（音楽・効果音）が、トークオーバーレベルの設定値に従って減衰して出力されます。



# rekordbox for Mac/Windows を使用する

## **[Talkover レベル] の設定**

トークオーバー機能の音声減衰レベルを設定します

設定値：－6 dB / －12 dB / －18 dB / －24 dB

## **[SMART FADER] の設定**

SMART FADER で使用するフェーダーを選択できます。

- **[クロスフェーダーとチャンネルフェーダー]：**

クロスフェーダーとチャンネルフェーダーのいずれかの操作によって SMART FADER 機能が動作します。

- **[クロスフェーダー]：**

クロスフェーダー操作によって SMART FADER 機能が動作します。

- **[チャンネルフェーダー]：**

チャンネルフェーダー操作によって SMART FADER 機能が動作します。

**[SMART FADER 推奨カーブを使用する]** にチェックを入れると SMART FADER 推奨カーブで動作します。チェックを外すと **[環境設定] > [コントローラー] > [ミキサー]** の **[チャンネルフェーダーカーブ]**、**[クロスフェーダーカーブ]** の設定で動作します。

## **[コントローラー] 内の [エフェクト] タブ内：**

### **[SMART CFX] の設定**

SMART CFX のプリセット画面を rekordbox for Mac/Windows の画面内のどの位置に表示するかを左上、右上、中央、左下、右下の中から選択できます。

- 初期値では中央に設定されています。

## **[コントローラー] 内の [DDJ-FLX4] タブ内：**

### **[Master 出力] の [モノラル/ステレオ切替え] 設定**

**[MASTER]** 出力端子から出力される音声のモノラル音声／ステレオ音声を切替えることができます。

- **[モノラル]**：モノラル音声で出力されます。
- **[ステレオ]**：ステレオ音声で出力されます。

### **[Master 出力] の [ピークリミッター] 設定**

**[MASTER]** 出力端子から出力される音声の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。

- **[有効]**：マスター出力のピークリミッターが有効です。
- **[無効]**：マスター出力のピークリミッターが無効です。

---

---

# Serato DJ Lite を使用する

---

---

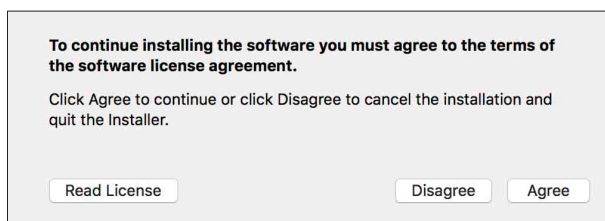
## Serato DJ Lite をインストールする

### ❖ インストール手順（Mac）

インストールが完了するまでは、本機と Mac を接続しないでください。

- Mac 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

- 1 ダウンロードした Serato DJ Lite ソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる
- 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする

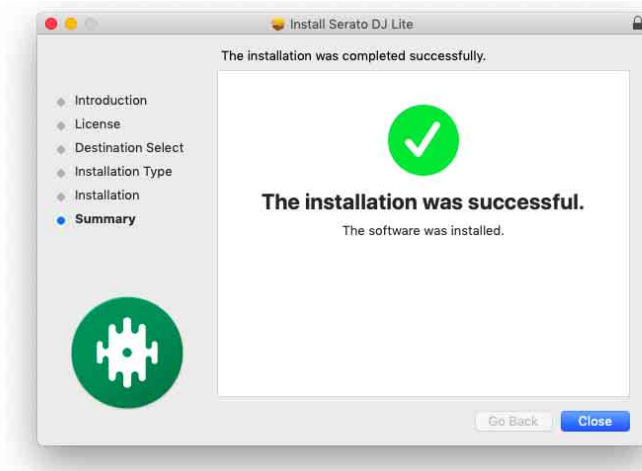


- 使用許諾契約の内容に同意しないときは【同意しない】をクリックしてインストールを中止してください。

- 4 【インストール】をクリックする
- 5 画面の指示に従ってインストールする

# Serato DJ Lite を使用する

## 6 【閉じる】をクリックして、インストーラーを終了させる



### ❖ インストール手順 (Windows)

インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。

- PCの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- PC上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

## 1 ダウンロードしたSerato DJ Lite ソフトウェアファイルを解凍する

## 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

## 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[I agree to the license terms and conditions]を選択し、[Install]をクリックする

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、【Close】をクリックしてインストールを中止してください。



# Serato DJ Lite を使用する

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

## 4 [Close]をクリックしてSerato DJ Lite インストーラーを終了させる



## 操作する（基本編）

---

### Serato DJ Lite を起動する

---

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ Lite ソフトウェアの操作については、Serato DJ Lite のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

#### Mac のとき

Finder で【アプリケーション】フォルダーを開いてから、【Serato DJ Lite】のアイコンをダブルクリックする

#### Windows 11 のとき

【スタート】メニューから、【すべてのアプリ】>【Serato】>【Serato DJ Lite】のアイコンをクリックする

#### Windows 10 のとき

【スタート】メニューから、【Serato】>【Serato DJ Lite】のアイコンをクリックする

#### Serato DJ Lite ソフトウェア起動直後の PC/Mac 画面



# Serato DJ Lite を使用する

Serato DJ Lite ソフトウェアにトラックをロードしたときのPC/Mac 画面



## A デッキ部

ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPMなどのトラック情報や全体波形などを表示します。

## B ウェーブフォームディスプレイ

ロードされたトラックの波形を表示します。

## C ブラウズ部

ライブラリの中のトラックや複数のトラックをまとめて保存したcrateを表示します。

## トラックをインポートする

- Serato DJ Lite ソフトウェアでは、さまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ Lite のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- すでに Serato Limited 社の DJ ソフトウェア（Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro、Serato DJ、Serato DJ Pro）をお使いのお客様で、トラックライブラリを作成されている場合は、以前作成したトラックライブラリをそのまま使うことができます。
- Serato DJ Intro をお使いのお客様で、すでにトラックライブラリを作成されている場合は、トラックの再解析が必要になる場合があります。

以下では、トラックをインポートする代表的な操作方法について説明します。

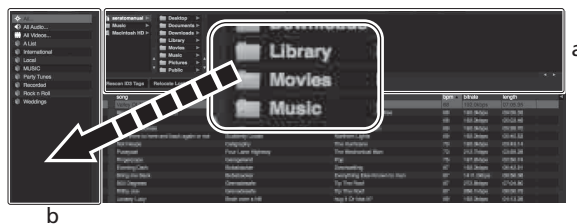
### 1 Serato DJ Lite ソフトウェア画面の[ファイル]ボタンをクリックして[ファイル]パネルを開く

お使いの PC/Mac および PC/Mac に接続されている周辺機器の中身が[ファイル]パネルに表示されます。

### 2 [ファイル]パネル内でライブラリに加えたいトラックが含まれているフォルダーをクリックして選択する

### 3 Serato DJ Lite ソフトウェアの画面上で、選択したフォルダーを crates パネルにドラッグ&ドロップする

crate が作成され、ライブラリにトラックが追加されます。



a [ファイル]パネル

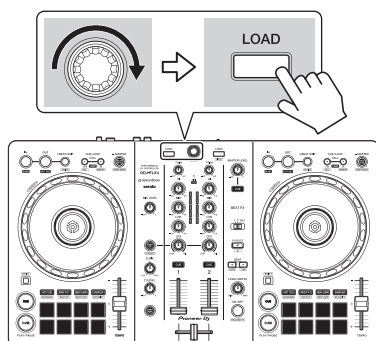
b crates パネル

## トラックをデッキにロードする

以下では、デッキ1 (左側) にトラックをロードする方法を例にして説明します。

ロータリーセレクターを回して、ライブラリ内のトラックを選択し、デッキ1 (左側) の **[LOAD]** ボタンを押す

トラックがデッキにロードされます。



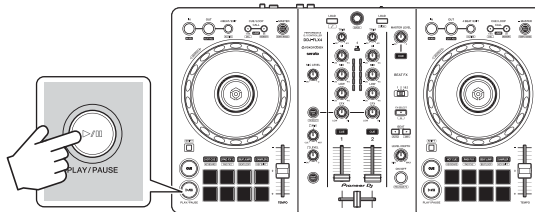
## トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

### 1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

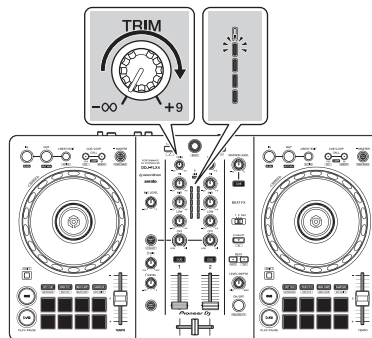
- [TRIM]ノブ：左に回しきった位置
- EQ [HI、MID、LOW]ノブ：中心位置
- [CFX]ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [MASTER LEVEL]ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

### 2 [PLAY/PAUSE ▶/⏸]ボタンを押してトラックを再生する



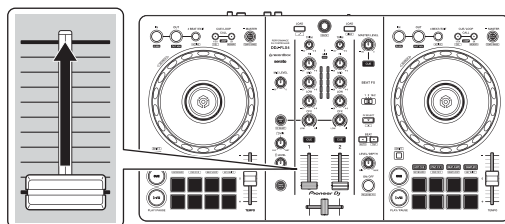
### 3 [TRIM]ノブを回す

チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータが、ピークレベルで点灯するように、[TRIM]ノブを調整してください。



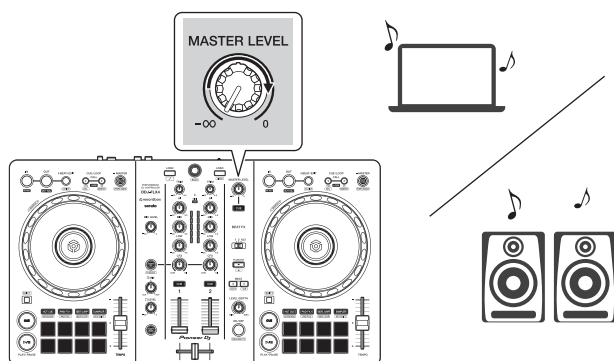
# Serato DJ Lite を使用する

## 4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



## 5 [MASTER LEVEL] ノブを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[MASTER]出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- [MASTER]出力端子から音声が出力されないときや、本機をPC/Macに接続しても認識しないときなどは、Pioneer DJサポートページへアクセスして、**[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

[pioneerdj.com/support/](http://pioneerdj.com/support/)

## ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

### 1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

- [HEADPHONES MIX] ノブ：中心位置
- [HEADPHONES LEVEL] ノブ：左に回しきった位置

### 2 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す

### 3 [HEADPHONES LEVEL] ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

---

## Serato DJ Lite を終了する

[×]ボタンをクリックする

---

## 本機の電源をオフにする

USB ケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

---

## 操作する（応用編）

---

### 4 BEAT LOOP を使う

再生中に[4 BEAT/EXIT]ボタンを押す

ボタンを押した位置から4拍のループが自動で開始され、ループ再生を始めます。

#### ❖ ループ再生を解除する

[4 BEAT/EXIT]ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

---

### MANUAL LOOP を使う

指定した区間を繰り返し再生できます。

**1 再生中にループ再生を始めたい位置（ループインポイント）で、[IN]ボタンを押す**

**2 ループ再生を終わりたい位置（ループアウトポイント）で、[OUT]ボタンを押す**

ループ再生が始まります。

#### ❖ ループを分割する

ループ再生中に[CUE/LOOP CALL◀]ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが半分に分割されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを半分に分割することができます。

#### ❖ ループを延長する

ループ再生中に[CUE/LOOP CALL▶]ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが2倍に延長されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを2倍に延長することができます。

## ❖ ループ再生を解除する

### [4 BEAT/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

---

## PERFORMANCE PADS を使う

Serato DJ Lite の機能を基本に記載しています。

Serato DJ Pro にアップグレードした際に使用できる機能の説明文には

**Serato DJ Pro** を添えています。

それぞれの機能はパッドモードボタン（[HOT CUE] モードボタン、[PAD FX1] モードボタン、[BEAT JUMP] モードボタン、[SAMPLER] モードボタン）で切替えます。

## ❖ HOT CUE を使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

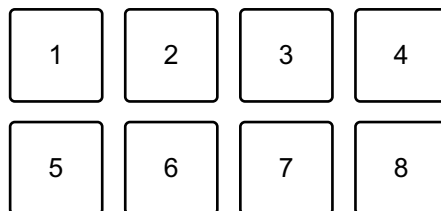
- ホットキューポイントは1トラックにつき4か所まで設定および保存できます。

### 1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

### 2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

パッドの設定は以下のようになります。



1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、  
5：プレビーストラック、6：サーチ ◀◀、7：サーチ ▶▶、8：Censor

### **Serato DJ Pro**

1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、  
5：ホットキュー E、6：ホットキュー F、7：ホットキュー G、8：ホットキュー H

# Serato DJ Lite を使用する

- **Censor**：パッド8を押している間逆方向に再生し、パッドから指を放すと通常の再生に戻ります。

## 3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

## ❖ PAD FXを使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

### 1 [PAD FX1]モードボタンを押す

パッドFXモードに切替わります。

### 2 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

パッドの設定は以下のようになります。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1：エフェクトA、2：エフェクトB、3：エフェクトC、4：エフェクトD、  
5：プレビーストラック、6：サーチ◀◀、7：サーチ▶▶、8：Censor

#### Serato DJ Pro

1：エフェクトA、2：エフェクトB、3：エフェクトC、4：エフェクトD、  
5：エフェクトE、6：エフェクトF、7：エフェクトG、8：エフェクトH

### 3 パフォーマンスパッドから指を離す、またはもう一度押す

エフェクトがオフになります。

# Serato DJ Lite を使用する

## ❖ BEAT JUMP を使う

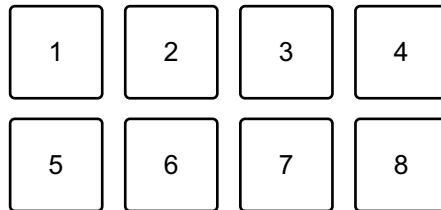
再生位置を BEAT 単位で移動できます。

### 1 [BEAT JUMP] モードボタンを押す

ビートジャンプモードに切替わります。

### 2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押す

パッドの設定は以下のようになります。



1 : 左方向へ BEAT JUMP 実行、2 : 半分の BEAT JUMP 幅を選択、  
3 : 2倍の BEAT JUMP 幅を選択、4 : 右方向へ BEAT JUMP 実行、  
5 : プレビアストラック、6 : サーチ ◀◀、7 : サーチ ▶▶、8 : Censor

## ❖ SAMPLER を使う

サンプラーのサンプラスロットにロードされているトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

### 1 Serato DJ Lite 画面で [SAMPLER] パネルを開く

### 2 [SAMPLER] モードボタンを押す

サンプラーモードに切替わります。

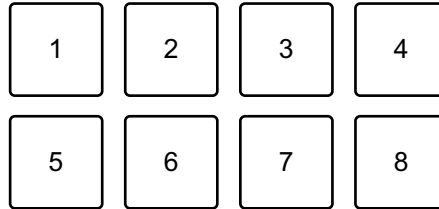
### 3 Serato DJ Lite 画面でライブラリからトラックをドラッグ&ドロップし、[SAMPLER] パネルの各スロットにトラックをロードする

サンプラーの設定とロードしたトラックが保存されます。

## 4 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

パッドの設定は以下のようになります。



1：スロット1、2：スロット2、3：スロット3、4：スロット4、  
5：プレビアストラック、6：サーチ ◀◀、7：サーチ ▶▶、8：Censor

### Serato DJ Pro

1：スロット1、2：スロット2、3：スロット3、4：スロット4、5：スロット5、  
6：スロット6、7：スロット7、8：スロット8

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

## ❖ PITCH PLAY を使う

### Serato DJ Pro

ピッチプレイとは、Pitch 'n Time DJの機能です。

- Pitch 'n Time DJを使用するには、Pitch 'n Time DJのアクティベートが必要です。下記サイトを参照してください。

[serato.com/activation/pitch-n-time](https://serato.com/activation/pitch-n-time)

### 1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[HOT CUE]** モードボタンを押す

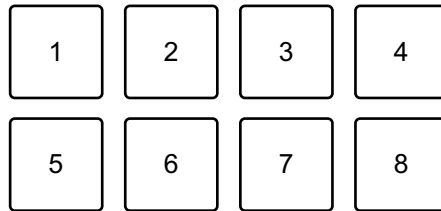
ピッチプレイモードに切替わります。

### 2 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されているホットキューポイントが選択されます。

## 3 パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられているピッチで、選択したホットキューポイントから再生を開始します。



1 :  $\pm 0$  セミトーン、2 : +1 セミトーン、3 : +2 セミトーン、4 : +3 セミトーン、  
5 : -4 セミトーン、6 : -3 セミトーン、7 : -2 セミトーン、8 : -1 セミトーン

## ❖ ROLL を使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドを押し続けている間ループ再生を継続します。

ループロール再生中、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。  
ループロール再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から再生を再開します。

## 1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[PAD FX1] モードボタンを押す

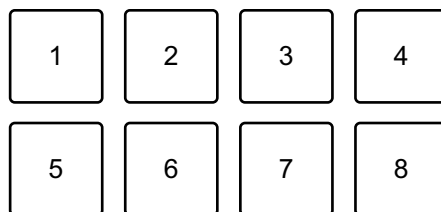
ロールモードに切り替わります。

## 2 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループロール再生します。ループロール再生中もバックグラウンドで再生を続けます。

- ループロール再生中に[CUE/LOOP CALL◀]ボタンまたは[CUE/LOOP CALL▶]ボタンを押して、再生中のループロールの拍数を変えることができます。

パッドの設定は以下のようになります。



1 : 1/4 拍、2 : 1/2 拍、3 : 1 拍、4 : 2 拍、5 : プレビアストラック、  
6 : サーチ ◀◀、7 : サーチ ▶▶、8 : Censor

# Serato DJ Lite を使用する

## Serato DJ Pro

1 : 1/32 拍、2 : 1/16 拍、3 : 1/8 拍、4 : 1/4 拍、5 : 1/2 拍、6 : 1 拍、  
7 : 2 拍、8 : 4 拍

### 3 パフォーマンスパッドから指を離す

ループロール再生が解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

### ❖ AUTO LOOP を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループが設定され、パフォーマンスパッドを離してもループ再生を続けます。

#### 1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT JUMP] モード ボタンを押す

オートループモードに切替わります。

#### 2 再生中にパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループ再生を開始します。

- もう一度同じパフォーマンスパッドを押すと、ループ再生を解除します。

パッドの設定は以下のようになります。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1 : 1 拍、2 : 2 拍、3 : 4 拍、4 : 8 拍、5 : プレビアストラック、6 : サーチ ◀◀、  
7 : サーチ ▶▶、8 : Censor

## Serato DJ Pro

1 : 1/8 拍、2 : 1/4 拍、3 : 1/2 拍、4 : 1 拍、5 : 2 拍、6 : 4 拍、7 : 8 拍、8 : 16 拍

## ❖ KEY SHIFT を使う

### Serato DJ Pro

キーシフトとは、Pitch 'n Time DJの機能です。

- Pitch 'n Time DJを使用するには、Pitch 'n Time DJのアクティベートが必要です。下記サイトを参照してください。

[serato.com/activation/pitch-n-time](https://serato.com/activation/pitch-n-time)

パフォーマンスパッドを押すと、パッドに割り当てられた音の高さで再生中のトラックのキー（調）が変わります。

## 1 [SHIFT]ボタンを押しながら、[SAMPLER]モードボタンを押す

キーシフトモードに切替わります。

パッドの設定は以下のようになります。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1：±0 セミトーン、2：+1 セミトーン、3：+2 セミトーン、4：+3 セミトーン、  
5：-4 セミトーン、6：-3 セミトーン、7：-2 セミトーン、8：-1 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

## 2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さで、再生中のトラックのキー（調）が変わります。

---

## FADER START 機能を使う

### ❖ CH FADER START 機能を使う

#### 1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

#### 2 [SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

### ❖ CROSSFADER START 機能を使う

#### 1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

#### 2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

#### 3 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

---

## トラックを解析する

Serato DJ Lite の **[Analyze Files]** ボタンをクリックすると、ライブラリの中の未解析のトラックを解析することができます。また、未解析のトラックを **[Analyze Files]** ボタンへドラッグ&ドロップすることで解析することもできます。

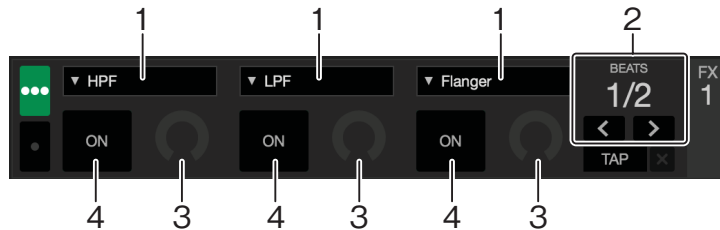
- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

---

## エフェクトを使う

Serato DJ Lite には FX1 と FX2 の2つのエフェクトユニットがあります。

### ❖ Serato DJ Lite のエフェクトユニットの画面表示

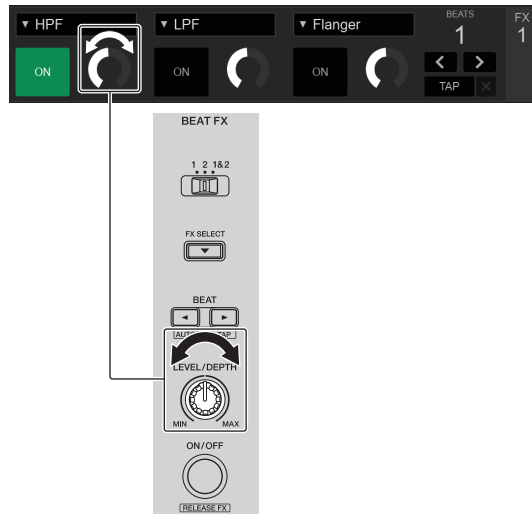


- 1 : エフェクトの種類
- 2 : エフェクトの拍数
- 3 : エフェクト量
- 4 : エフェクト ON/OFF

# Serato DJ Lite を使用する

## ❖ エフェクトを操作する

Serato DJ Lite 画面上のFX1 のスロット1のエフェクトを操作することができます。



### 1 Serato DJ Liteの画面で[FX]パネルを表示する

### 2 [FX SELECT]ボタンを押す

FXの種類がプルダウンメニューの下方向にあるエフェクトへ切替わります。

### 3 [FX CH SELECT]スイッチをスライドする

- [1] : チャンネル1の音声にFXを加えます。
- [2] : チャンネル2の音声にFXを加えます。
- [1&2] : チャンネル1およびチャンネル2の音声にFXを加えます。

### 4 [BEAT◀]ボタンまたは[BEAT▶]ボタンを押す

エフェクト音を同期させる拍数を設定します。

### 5 [FX LEVEL/DEPTH]ノブを回して、エフェクトのパラメーターを調節する

Serato DJ Lite画面上のFX1のスロット1のパラメーターが動きます。

## 6 [FX ON/OFF] ボタンを押す

手順3で設定したチャンネルの音声にエフェクトがかかります。

[FX LEVEL/DEPTH] ノブを回すと、パラメータを調節できます。

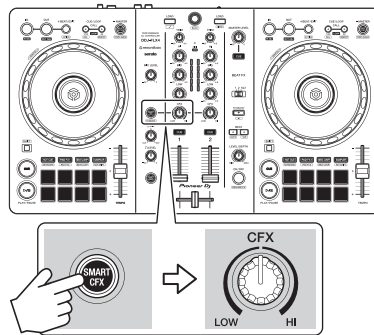
エフェクトをオンにしているとき、[FX ON/OFF] ボタンが点滅します。

- [FX ON/OFF] ボタンをもう一度押すと、エフェクトがオフになります。

---

## SMART CFX を使う

[CFX] ノブに連動して、曲を盛り上げるために最適な効果を付与することができるエフェクトです。



### 1 [SMART CFX] ボタンを押す

プリセット1 (ECHO Type) のSMART CFXをオンします。

- [SHIFT] を押しながら [SMART CFX] ボタンを押すと、プリセット2 (REVERB Type) のSMART CFXをオンします。

### 2 [CFX] ノブを回す

現在再生中の曲にエフェクトがかかります。

[CFX] ノブを回す操作に合わせて、エフェクト音の効果が変化します。

- ノブがセンター位置のときエフェクトはかかりません。

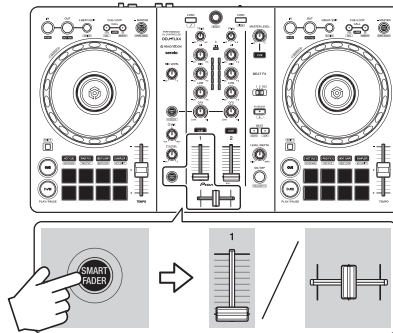
### 3 もう一度 [SMART CFX] ボタンを押す

SMART CFX をオフにします。

---

## SMART FADER を使う

クロスフェーダーやチャンネルフェーダーノブに連動して、前の曲と次の曲をミックスするために最適な効果を付与することができるエフェクトです。



### 1 [SMART FADER] ボタンを押す

プリセット1 (ECHO Type) の SMART FADER をオンします。

- [SHIFT] を押しながら [SMART FADER] ボタンを押すと、プリセット2 (REVERB Type) の SMART FADER をオンします。

### 2 チェンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作する

フェーダー操作に応じて、自動でエフェクトがかかります。

### 3 もう一度 [SMART FADER] ボタンを押す

SMART FADER をオフにします。

---

## マイクを使う

### 1 [MIC] 入力端子にマイクを接続する

### 2 [MIC LEVEL] ノブを回して、[MIC] 入力端子に入力される音声レベルを調整する

- 右に回しすぎると、大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

## 3 マイクに音声を入力する

- 本機に入力されたマイク音声を Serato DJ Lite で加工することはできません。

---

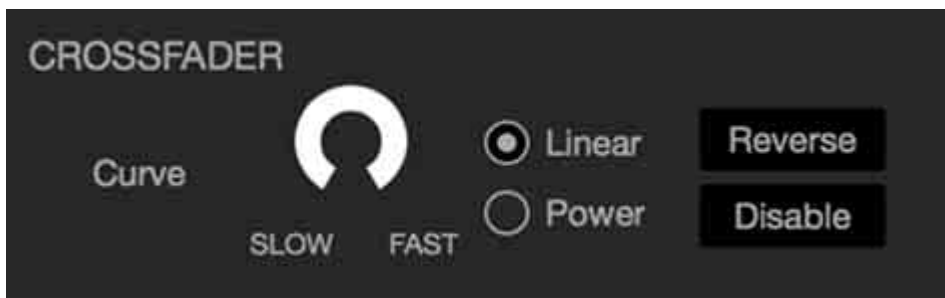
## クロスフェーダーアサインを切替える

Serato DJ Lite 画面で、[Reverse]、[Disable] が選択できます。

### 1 をクリックする

### 2 [ミキサー] タブをクリックする

- [Reverse]：クロスフェーダーアサインをリバースします。
- [Disable]：クロスフェーダーを無効とし、スルー出力します。



---

## クロスフェーダーカーブを設定する

Serato DJ Lite 画面で、クロスフェーダーカーブを設定できます。

### 1 をクリックする

### 2 [ミキサー] タブをクリックする

### 3 クロスフェーダーカーブを調整する

- [SLOW] 側に回すほど、徐々に立ち上がるカーブになります。
- [FAST] 側に回すほど、急峻に立ち上がるカーブになります。

---

---

# rekordbox for iOS/Android を使用する

---

---

## rekordbox for iOS/Android をインストールする

---

---

---

### rekordbox for iOS/Android を準備する

rekordbox for iOS/Androidをはじめてお使いになるお客様は、本手順に従って最新版の rekordbox for iOS/Androidをインストールしてください。

rekordbox for iOS/Androidを既にインストールされているお客様は、App Store または Google Playで最新版にアップデートしてください。

- モバイルデバイスやその他に必要なインターネット利用環境はお客様でご用意ください。
- 

### インストール手順について

お客様がお使いになるモバイルデバイスのオペレーティングシステム（OS）により、インストールの手順が異なります。

#### ❖ インストール手順（iOS または iPadOS）

#### 1 下記のQRコードまたはURLにアクセスしてApp Storeを開く



<https://apps.apple.com/jp/app/id1487048203>

# rekordbox for iOS/Android を使用する

## 2 [入手]をタップしてrekordbox for iOSをインストールする

インストールが終わると【開く】に変わります。タップしてrekordbox for iOS を開始してください。

### ❖ インストール手順 (Android)

#### 1 下記のQRコードまたはURLにアクセスしてGoogle Playを開く



<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.pioneerdj.rekordbox>

#### 2 [インストール]をタップしてrekordbox for Androidをインストールする

インストールが終わると【開く】に変わります。タップしてrekordbox for Androidを開始してください。

---

## 操作する（基本編）

---

### rekordbox for iOS/Android を起動する

rekordbox アイコンをタップしてください。



**rekordbox**

“デバイス内の写真やメディアへのアクセスを「rekordbox」に許可しますか？”で  
[許可する]をタップしてください。

ソフトウェア使用許諾契約の内容をよく読み、[上記のソフトウェア使用許諾初を読みまし  
た。]にチェックを入れ、[同意します]をタップしてください。

---

### 本機とモバイルデバイスを接続する

#### ❖ USB ケーブルで接続する

- 1 本機のUSB端子（電源専用）に電源アダプターやモバイルバッテリーを接続して電源をオンにする
- 2 USBケーブルで本機のUSB端子（デバイス接続用）とモバイルデバイスを接続する

# rekordbox for iOS/Android を使用する

## ❖ Bluetooth で接続する

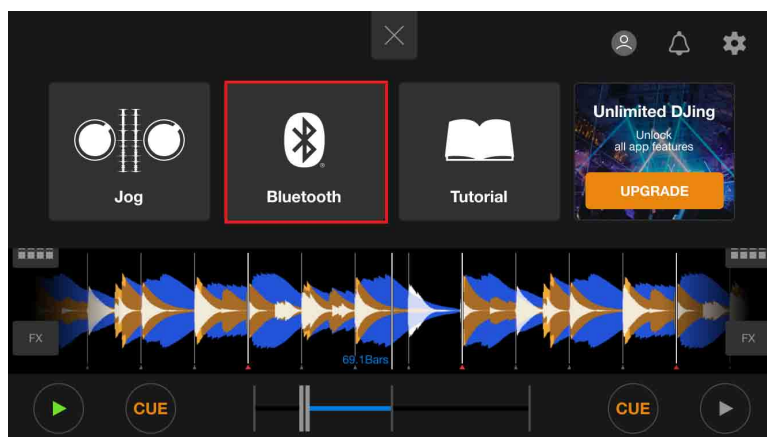
- 1 本機のUSB端子（電源専用）に電源アダプターやモバイルバッテリーを接続して電源をオンにする
- 2 rekordbox for iOS/Android を起動中にモバイルデバイスを横向きにして、ブラウザ画面を閉じる。

手順3の画面が表示されます。

- 3 画面中央上部の  をタップする



- 4  をタップする

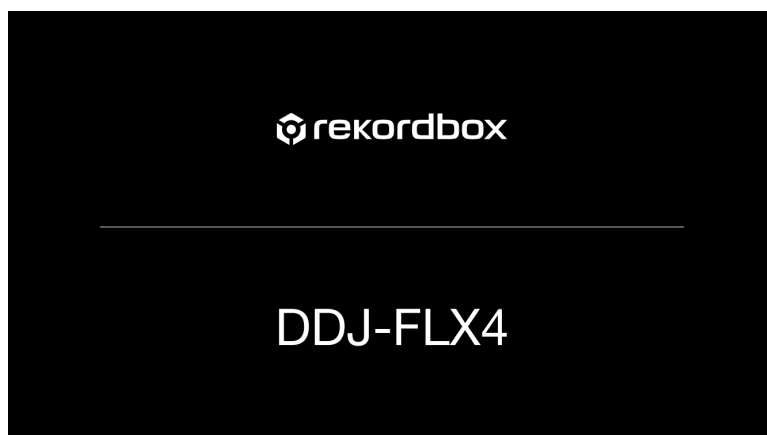


# rekordbox for iOS/Android を使用する

## 5 検出された[DDJ-FLX4]をタップする



接続すると以下の画面が表示されます。

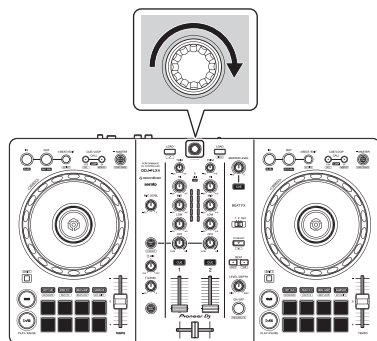


# rekordbox for iOS/Android を使用する

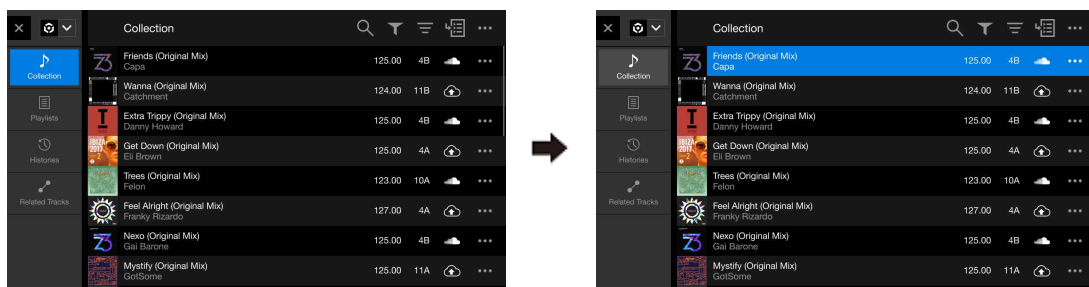
## トラックをデッキにロードする

以下では、デッキ1 (左側)にトラックをロードする方法を例にして説明します。

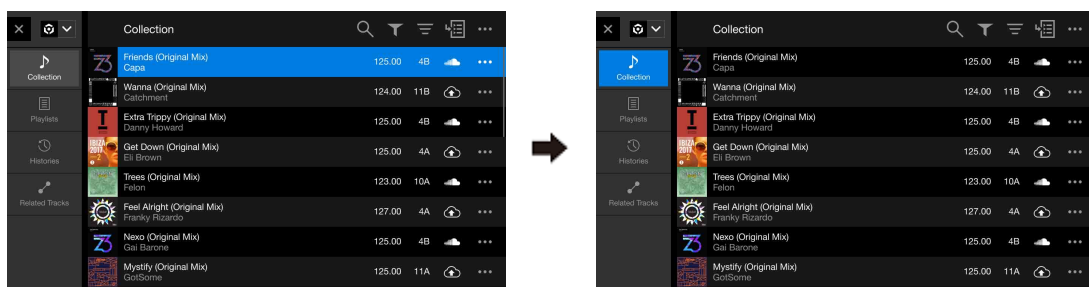
### 1 ロータリーセクターを回してトラックを選ぶ



- ロータリーセクターを押すことにより下の階層に移動します。

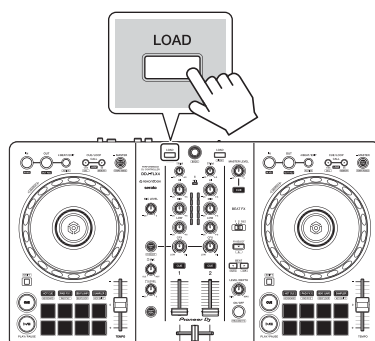


- [SHIFT]+ ロータリーセクターを押すことにより上の階層に移動します。



# rekordbox for iOS/Android を使用する

## 2 デッキ1（左側）の[LOAD]ボタンを押す



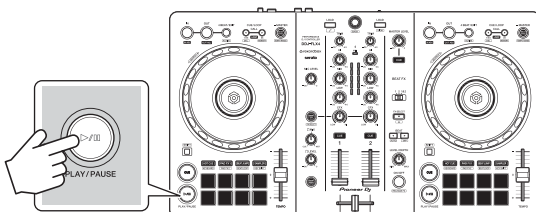
## トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

### 1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

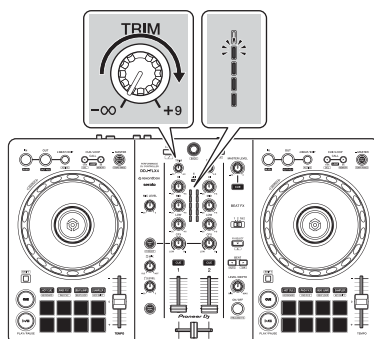
- [TRIM] ノブ：左に回しきった位置
- EQ [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [CFX] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [MASTER LEVEL] ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

### 2 [PLAY/PAUSE ▶/⏸] ボタンを押してトラックを再生する



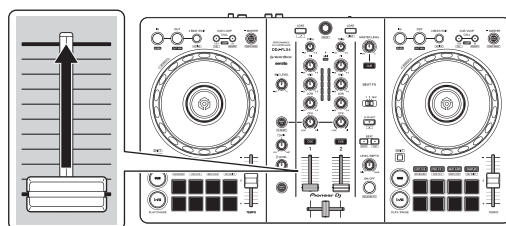
### 3 [TRIM] ノブを回す

チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータが、ピークレベルで点灯するように、[TRIM] ノブを調整してください。



# rekordbox for iOS/Android を使用する

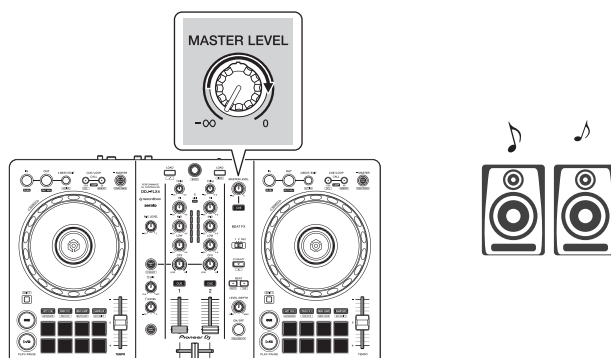
## 4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



## 5 スピーカーの音声レベルを調整する

### USBケーブル接続時

[MASTER]出力端子から出力される音声レベルを**[MASTER LEVEL]**ノブをまわして適切な音量に調整します。



- **[MASTER]**出力端子から音声が出力されないときや、本機をモバイルデバイスに接続しても認識しないときなどは、「故障かな?と思ったら」(147 ページ) を参照してください。

### Bluetooth接続時

音声はモバイルデバイスから出力されます。

- **[MASTER LEVEL]**ノブではなく、モバイルデバイスのスピーカーの音量を調節してください。

## USB ケーブル接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする

本機をモバイルデバイスとUSBケーブルで接続した場合、本機のヘッドホン出力端子からヘッドホンでモニターすることができます。

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

### 1 ヘッドホンを実機に接続する

### 2 以下のように、ノブなどの位置を設定する

- [HEADPHONES MIX]ノブ：中心位置
- [HEADPHONES LEVEL]ノブ：左に回しきった位置

### 3 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す

### 4 [HEADPHONES LEVEL]ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

---

## Bluetooth 接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

### 1 モバイルデバイスにスプリットケーブル（市販品）を接続する

- スプリットケーブルは、ステレオヘッドホン出力端子から出力される音声をLチャンネルとRチャンネルに分岐させるためのケーブルです。

### 2 スプリットケーブルのLチャンネルにスピーカーを、Rチャンネルにヘッドホンを実機に接続する

- 本機の[MASTER]出力端子とヘッドホン出力端子は使いません。

### 3 rekordbox for iOS/Android を起動中にモバイルデバイスを横向きにして、ブラウザ画面を閉じる。

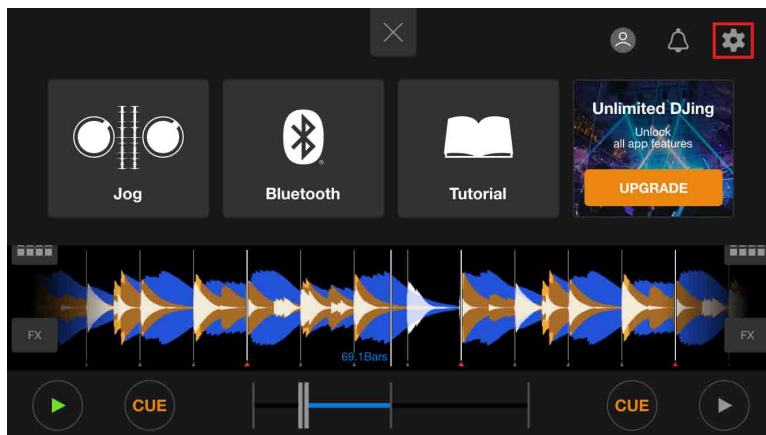
手順4の画面が表示されます。

# rekordbox for iOS/Android を使用する

## 4 画面中央上部の をタップする

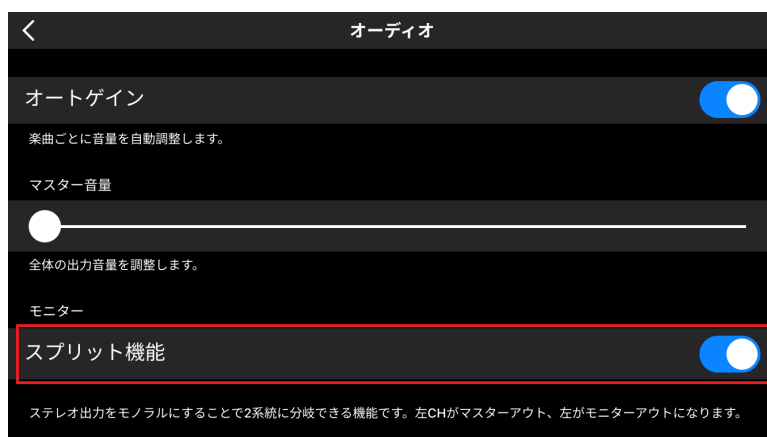


## 5 をタップして[設定]画面を開く



# rekordbox for iOS/Android を使用する

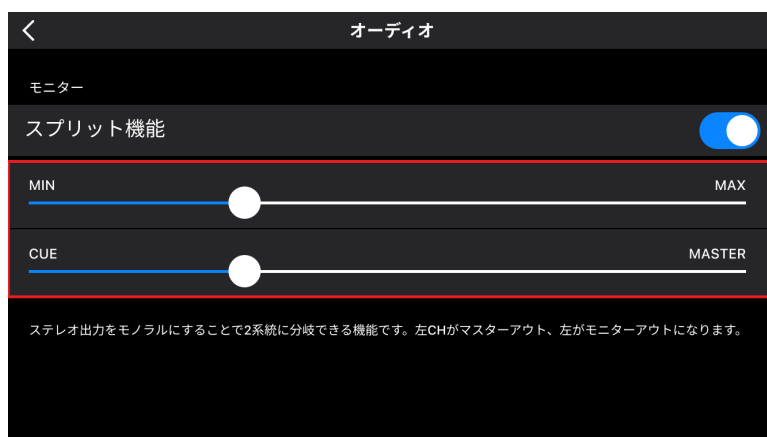
## 6 【オーディオ】の【モニター】の【スプリット機能】をONにする



## 7 本機のチャンネル1のヘッドホン【CUE】ボタンを押す

## 8 【オーディオ】の【モニター】で音量を調整する

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



## Android 端末で正しくステレオ出力されない場合

Android 端末と USB 接続をすると、一部の端末では本機と正しく接続されず、正常なステレオ音声が出力されない場合があります。その際は本体背面の【Android MONO/STEREO】スイッチを【MONO】にすると正しく出力できる場合があります。

## 本機の電源をオフにする

USB ケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

---

## 操作する（応用編）

---

### 4 BEAT LOOP を使う

#### 再生中に[4 BEAT/EXIT]ボタンを押す

ボタンを押した位置から4拍のループが自動で開始され、ループ再生を始めます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

#### ❖ ループ再生を解除する

#### [4 BEAT/EXIT]ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

---

### MANUAL LOOP を使う

指定した区間を繰り返し再生できます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

#### 1 再生中に、ループ再生を始めたい位置（ループインポイント）で [IN] ボタンを押す

ループインポイントが設定されます。

#### 2 ループ再生を終わりたい位置（ループアウトポイント）で [OUT] ボタンを押す

## ❖ ループを分割する

### ループ再生中に [CUE/LOOP CALL◀] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが半分に分割されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを半分に分割することができます。

## ❖ ループを延長する

### ループ再生中に [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが2倍に延長されます。

- 4ビートループ再生中でも、ループの長さを2倍に延長することができます。

## ❖ ループ再生を解除する

### [4 BEAT/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

## ❖ ループ再生の開始位置を変更する

### ループ再生中に [IN] ボタンを押し、ジョグを回す

ループインポイントの位置が移動します。

## ❖ ループ再生の終了位置を変更する

### ループ再生中に [OUT] ボタンを押し、ジョグを回す

ループアウトポイントの位置が移動します。

## PERFORMANCE PADS を使う

### ❖ HOT CUE を使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。またホットキューのほかに、ループを設定し瞬時に呼び出すこともできます。

- rekordbox for iOS/Androidでは、ホットキューポイントは1曲につき8か所まで設定および保存することができます。

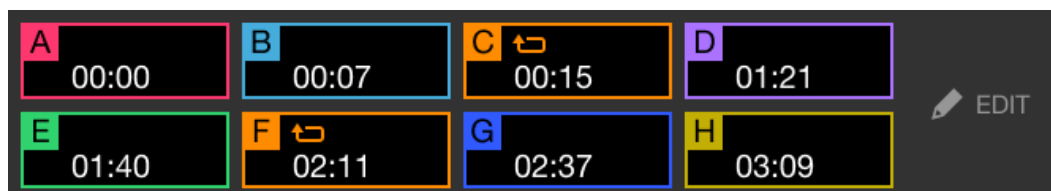
### HOT CUE を設定して呼び出す

#### 1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

#### 2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



#### 3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

## 4 BEAT LOOP を設定して呼び出す

### 1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

### 2 再生中に [4 BEAT/EXIT] ボタンを押す

ボタンを押した位置から4拍のループが設定されて、ループ再生を始めます。

### 3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

### 4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

## MANUAL LOOP を設定して呼び出す

### 1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

### 2 再生中に [IN] ボタンを押して、[OUT] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

### 3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

### 4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

# rekordbox for iOS/Android を使用する

## ❖ PAD FX を使う

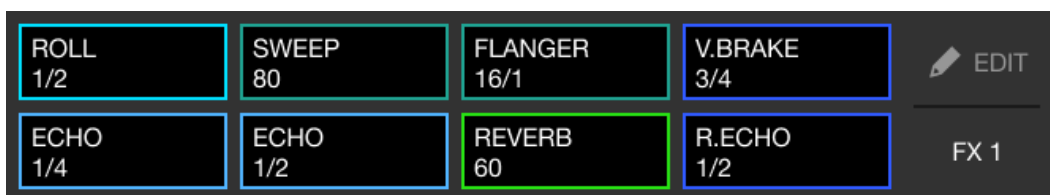
パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

### 1 パッドFXモード1またはパッドFXモード2に切替える

- パッドFXモード1: **[PAD FX1]** モードボタンを押します。
- パッドFXモード2: **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[PAD FX1]** モードボタンを押します。

パッドFXモード1とパッドFXモード2で、パフォーマンスパッドの各パッドのエフェクトのプリセットが切替わります。

パッドFXモード1



パッドFXモード2



### 2 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

### 3 パフォーマンスパッドから指を離す

エフェクトがオフになります。

# rekordbox for iOS/Android を使用する

## PAD FXのRELEASE FXを使う

あらかじめリリースFXをパフォーマンスパッドに割り当てする必要があります。

### 1 リリースFX以外のエフェクトが割り当てられたパフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

### 2 リリースFXが割り当てられたパフォーマンスパッドを押してから離す

それまでオンになっていたエフェクトがオフになり、リリースFXの効果が付加されます。

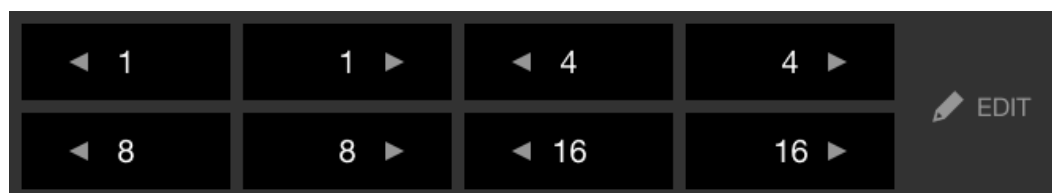
## ❖ BEAT JUMPを使う

再生中のトラックのリズムを崩さずに瞬時に再生位置を移動できます。

### 1 [BEAT JUMP]モードボタンを押す

ビートジャンプモードに切替わります。

ジャンプする方向と拍数のプリセットがパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



### 2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた方向と拍数でビートジャンプします。

# rekordbox for iOS/Android を使用する

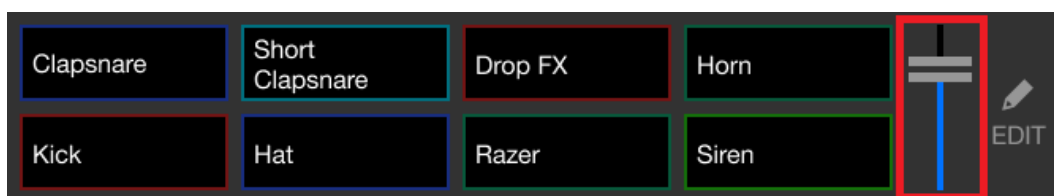
## ❖ SAMPLER を使う

サンプラーのサンプラスロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

### 1 [SAMPLER] モード ボタンを押す

サンプラーモードに切替わります。

### 2 サンプラーの音量を調整する

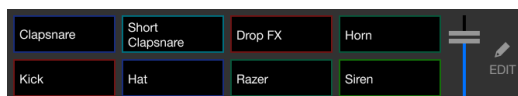


### 3 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- デッキ1とデッキ2で割り当てられるサンプラーのプリセットは異なります。

デッキ1



デッキ2



### 4 サンプラー再生中にパフォーマンスパッドを押す

先頭に戻って再生を続けます。

### 5 サンプラー再生中に[SHIFT] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

再生中のスロットの音声を停止します。

# rekordbox for iOS/Android を使用する

## ❖ KEYBOARD モードを使う

パフォーマンスパッドを使って、キーボード（鍵盤）のようにホットキューに音階をつけることができます。

### 1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[HOT CUE] モードボタンを押す

キーボードモードに切替わります。

### 2 パフォーマンスパッドを押す

キーボードモードで使用するホットキューを選択します。

- ホットキューが設定されていない場合は、現在の再生位置がホットキューとして設定され、設定したホットキューを選択後にキーボードモードで使用されます。
- キーボードモードで使用するホットキューを選びなおすときは、[SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE] モードボタンを押します。

キーボードモードで使用するホットキューが選択されると、音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。（初期状態）



各パッドに表示されている数値はセミトーン数を表しています。

例) +4: +4 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

### 3 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さでホットキューが再生されます。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

# rekordbox for iOS/Android を使用する

## ❖ BEAT LOOP を使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドから指を離してもループ再生を継続します。

### 1 [SHIFT]ボタンを押しながら、[BEAT JUMP]モードボタンを押す

ビートループモードに切替わります。

ビートループモードの拍数設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

|     |     |    |    |                                                                                          |
|-----|-----|----|----|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1/4 | 1/2 | 1  | 2  |  EDIT |
| 4   | 8   | 16 | 32 |                                                                                          |

各パッドに表示されている数値はBEAT JUMPする拍数を表しています。

### 2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループ再生します。

### 3 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す

ループ再生が解除されます。

# rekordbox for iOS/Android を使用する

## ❖ KEY SHIFT を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パッドに割り当てられた音の高さで再生中のトラックのキー（調）が変わります。

### 1 [SHIFT]ボタンを押しながら、[SAMPLER]モードボタンを押す

キーシフトモードに切替わります。

音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。（初期状態）



各パッドに表示されている数値はセミトーン数を表しています。

例) +4: +4 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

### 2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さで、再生中のトラックのキー（調）が変わります。

## キューポイントを設定する・呼び出す

### ❖ キューポイントを設定する

ロード中のトラックにキューポイントまたはループポイントを設定することができます。

- 1 キューポイントを設定したい位置に再生位置を移動する
- 2 一時停止状態で [CUE] ボタンを押す
- 3 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

手順2で設定されたキューポイントが保存されます。

- ループを組んだ状態で [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE/LOOP CALL ▶] ボタンを押すと、ループポイントが保存されます。

### ❖ キューポイントを呼び出す

設定したキューポイントまたはループポイントを呼び出すことができます。

[CUE/LOOP CALL◀] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

キューポイントまたはループポイントが呼び出されます。

### ❖ キューポイントを削除する

設定されたキューポイントまたはループポイントを削除することができます。

- 1 [CUE/LOOP CALL◀] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

削除したいキューポイントまたはループポイントを呼び出します。

- 2 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE/LOOP CALL◀] ボタンを押す

呼び出されたキューポイントまたはループポイントを消去できます。

---

## FADER START 機能を使う

### ❖ CH FADER START 機能を使う

#### 1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

#### 2 [SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

### ❖ CROSSFADER START 機能を使う

#### 1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

#### 2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

#### 3 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

---

## トラックを解析する

縦画面では**[設定]>[App内のプレーヤー設定]>[楽曲解析]>[自動解析]**をオンにしているとき、横画面では**[設定]>[一般]>[楽曲解析]>[自動解析]**をオンにしているとき、トラックの解析が行われます。

- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPMや波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

---

## BEAT FXを使う

BEAT FXはデッキにロードしたトラックのテンポ（BPM）にあわせてエフェクトをかけることができます。

### 1 [BEAT FX SELECT]ボタンを押す

BEAT FXの種類がプルダウンメニューの下方向にあるエフェクトへ切替わります。

- **[SHIFT]**ボタンを押しながらボタンを押すと、BEAT FXの種類がプルダウンメニューの上方向にあるエフェクトへ切替わります。

### 2 [BEAT FX CH SELECT]スイッチをスライドする

BEAT FXを加えるチャンネルを選択します。

- **[1]**：チャンネル1の音声にBEAT FXを加えます。
- **[2]**：チャンネル2の音声にBEAT FXを加えます。
- **[1&2]**：チャンネル1およびチャンネル2の音声にBEAT FXを加えます。  
BEAT FXのユニット1とユニット2で拍やエフェクトの種類などが同期します。ただし、デッキにロードしているトラックのBPMの違いにより拍の設定値が同期しない場合があります。

### 3 [BEAT◀] ボタンまたは[BEAT▶]ボタンを押す

エフェクト音を同期させる拍の倍率（またはパラメータ）を設定します。

## 4 [BEAT FX ON/OFF] ボタンを押す

手順2で設定したチャンネルの音声にBEAT FXがかかります。

[BEAT FX LEVEL/DEPTH] ノブを回すと、BEAT FXの量的パラメーターを調節できます。

BEAT FXをオンにしているとき、[BEAT FX ON/OFF] ボタンが点滅します。

- [BEAT FX ON/OFF] ボタンをもう一度押すと、BEAT FXがオフになります。

## 5 [SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT FX ON/OFF] ボタンを押してから離す

それまでオンになっていたBEAT FXがオフになり、リリースFXの効果が付加されます。

### ❖ BEAT FXのテンポモードを切替える

rekordbox for iOS/AndroidのBEAT FXのテンポを設定する方法として、「BPMオートモード」と「BPMタップモード」の2つのモードがあります。

- 初期状態はBPMオートモードに設定されています。

#### BPMオートモード

トラックのBPM値がエフェクトのテンポの基準となります。

#### BPMタップモード

エフェクトの基準となるBPM値を、[SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT▶] ボタンを指でタップした間隔から算出します。

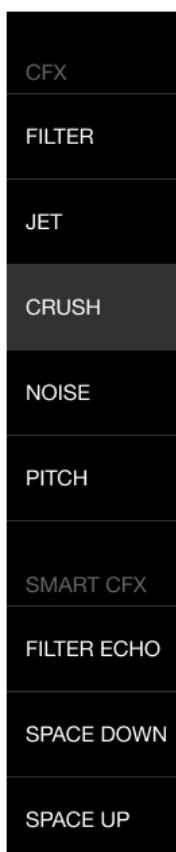
#### BPMオートモード／BPMタップモードを切替える

[SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT▶] ボタンを押すと、BPMタップモードへ切替わります。[SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT◀] ボタンを押すと、BPMオートモードへ切替わります。

## SMART CFX を使う

### 1 [SHIFT] ボタンを押しながら [SMART CFX] ボタンを押す

SMART CFX 機能のプリセット画面が表示され、エフェクトの種類を切替えることができます。



### 2 [SMART CFX] ボタンを押す

SMART CFX 機能をオンします。

### 3 [CFX] ノブを回す

ノブを回す操作に合わせて、エフェクトなどの効果が変化します。

### ❖ SMART CFX を終了する

[SMART CFX] ボタンを押す

SMART CFX 機能をオフします。

## SMART FADER を使う

### 1 デッキ1とデッキ2にトラックをロードする

### 2 [SMART FADER] ボタンを押す

SMART FADER 機能をオンします。

- SMART FADER 機能がオンの間は、ビートシンクがオンに設定されます（オフできません）。
- SMART FADER 機能がオンの間は、rekordbox for iOS/Android の画面で操作出来ない機能(一部のエフェクト、EQ LOW、ビートシンク)があります。

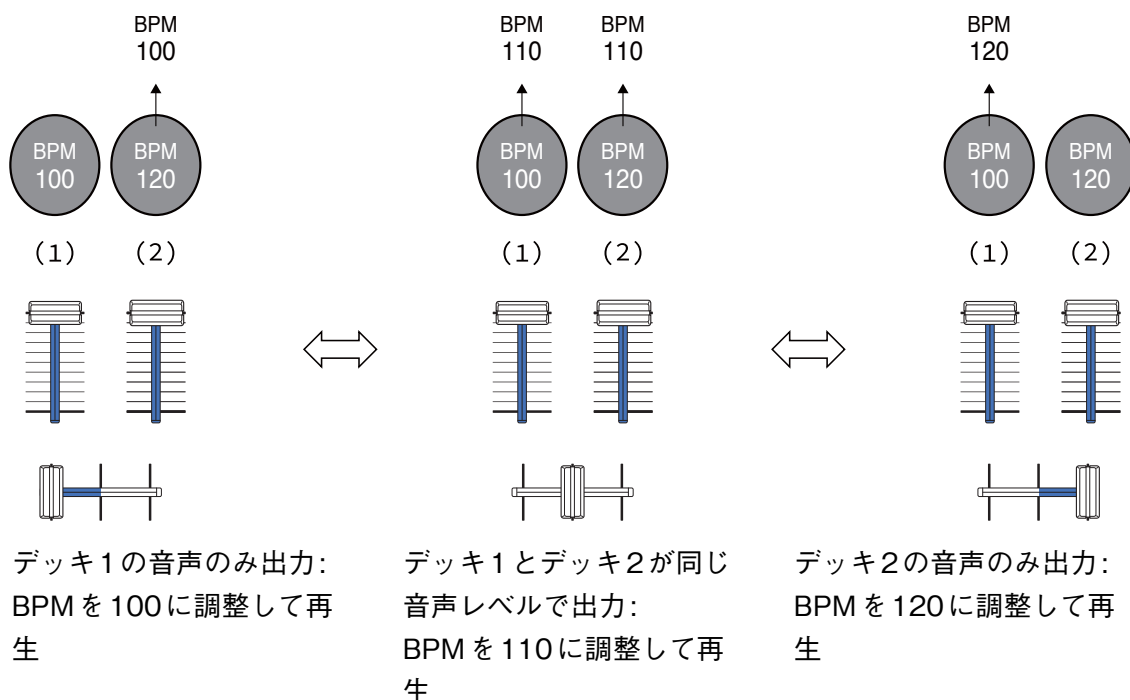
### 3 チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作して楽曲をミックスする

- フェーダー操作およびトラックのBPMに応じて、再生するときのBPMを調整します。
- フェーダー操作に応じて、EQ LOWを自動調整します。
- フェーダー操作に応じて、自動でECHOエフェクトをかけます。
- フェーダー操作によってデッキ1の音声のみ出力されているときは、デッキ1のトラックのBPMに、デッキ2の音声のみ出力されているときは、デッキ2のトラックのBPMに調整されます。また、デッキ1とデッキ2が同じ音声レベルで出力されているときは、デッキ1とデッキ2のトラックの中間のBPMに調整されます。
- デッキ1とデッキ2のBPMが大きく離れているときに、テンポレンジ範囲外となりSMART FADER機能が正しく動作しない場合があります。

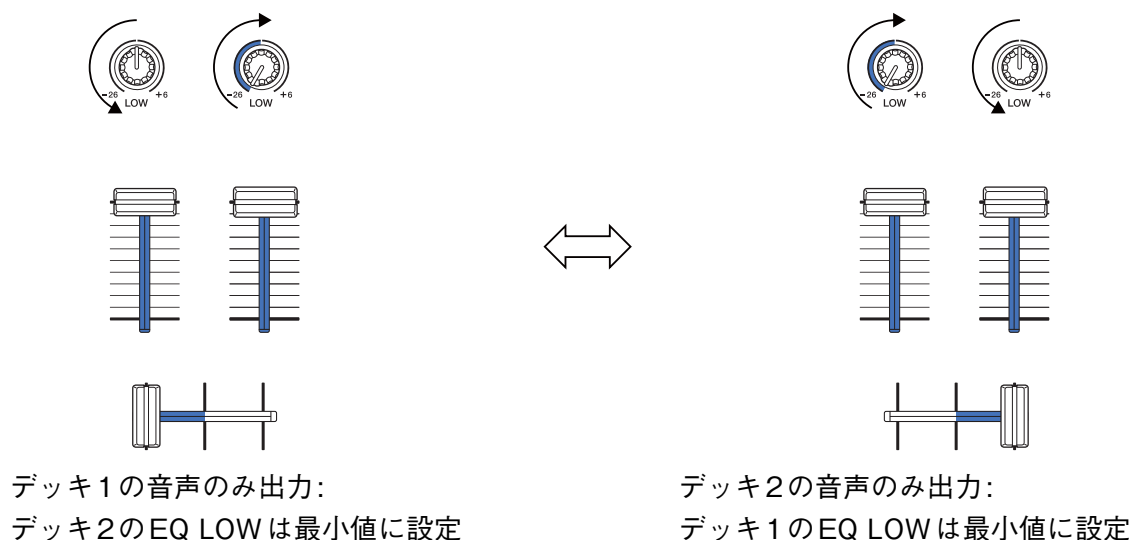
# rekordbox for iOS/Android を使用する

- 操作例

(1) : デッキ1、(2) : デッキ2



本操作例の場合は、100～120の間で線形に変化します。



# rekordbox for iOS/Androidを使用する

本操作例の場合は、以下のように変化します。

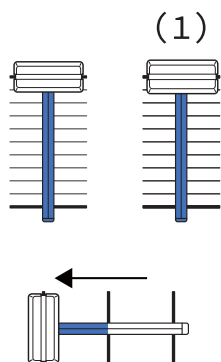
チャンネル1：クロスフェーダー位置が左から1/3～2/3の間にあるとき、EQ LOWのノブの位置がセンター位置から最小値へ変化

チャンネル2：クロスフェーダー位置が左から1/3～2/3の間にあるとき、EQ LOWのノブの位置が最小値からセンター位置へ変化

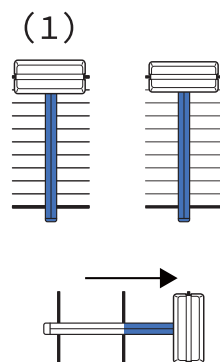
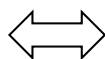
※EQ LOWの変化カーブは直前のEQ LOWのノブ位置やフェーダー位置によって異なり、スムーズにミックスができるように自動でコントロールされます。

※実際のEQ LOWのノブ位置はrekordbox for iOS/Androidの画面では変化せず、音声のみが変化します。

(1)：ECHO をかける



デッキ1の音声のみ出力：  
デッキ2のトラックにECHO  
をかける



デッキ2の音声のみ出力：  
デッキ1のトラックにECHO  
をかける

本操作例の場合は、以下のように変化します。

デッキ1：クロスフェーダーを右端へ移動させたときにECHOがかかります。

※右端を起点に左方向へ移動したときにはECHOはかかりません。

デッキ2：クロスフェーダーを左端へ移動させたときにECHOがかかります。

※左端を起点に右方向へ移動したときにはECHOはかかりません。

• **【設定】**にて、SMART FADER機能进行操作するフェーダーを選択できます。

**【設定】>[DDJ-FLX4の設定]>[SMART FADERで使用するフェーダー]**

## ❖ SMART FADERを終了する

**[SMART FADER]** ボタンを押す

SMART FADER機能をオフします。

## マイクを使う

モバイルデバイスと本機をUSBケーブルで接続している場合は、本機の**[MASTER]**出力端子やヘッドホン出力端子からマイクの音声を入力することができます。

- マイク音声は、エフェクトをかけられる**[エフェクトモード]**と、エフェクトをかけない**[低レイテンシーモード]**があります。rekordbox for iOS/Androidの**[設定]>[DDJ-FLX4の設定]>[Mic入力]**から変更できます。  
⇒ **「[Mic入力]の設定」**（140 ページ）初期値は、**[エフェクトモード]**になっています。
- モバイルデバイスと本機をBluetoothで接続している場合は、本機の**[MASTER]**出力端子やヘッドホン出力端子からマイクの音声を入力することができません。

### ❖ **[エフェクトモード]**でマイクを使う

#### 1 **[MIC]**入力端子にマイクを接続する

#### 2 rekordbox for iOS/Android画面上の ボタンをタップしてMICパネルを表示し、 をタップしてオンにする

#### 3 **[MIC LEVEL]**ノブを回して**[MIC]**入力端子に入力される音声レベルを調整する

- 右に回しすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

#### 4 マイクに音声を入力する

マイクEQ、マイクFX、TALKOVER、FEEDBACK REDUCERなどの機能が利用できます。



# rekordbox for iOS/Android を使用する

- マイク音声をモバイルデバイスを経由して本機から出力するにはrekordbox for iOS/Androidの **【Mic入力】**の設定を**【エフェクトモード】**にしてください。➡**「【Mic入力】の設定」**（140 ページ）
- rekordbox for iOS/Androidの **【Mic入力】**の設定を**【低レイテンシーモード】**にしている場合は、マイクの音声モバイルデバイスを経由せずに本機から出力されます。

## rekordbox for iOS/Android で設定を変更する

DJ プレイに必要な設定を rekordbox for iOS/Android 上で変更することができます。

**[設定]>[DDJ-FLX4の設定]**内にある設定項目で変更します。

rekordbox for iOS/Android と本機を接続した場合のみ、以下の設定を変更することができます。

### **[バックスピンレングス]の設定**

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

- **[ショート]**：バックスピンレングス ショート
- **[ノーマル]**：バックスピンレングス ノーマル
- **[ロング]**：バックスピンレングス ロング

### **[フェーダースタート]の設定**

フェーダースタート機能の設定を変更します。

### **[クロスフェーダー]の[リバース]の設定**

クロスフェーダーの左右を切替えることができます。

ON：クロスフェーダーの左側が**[DECK2]**、右側が**[DECK1]**になります。

OFF：クロスフェーダーの左側が**[DECK1]**、右側が**[DECK2]**になります。

### **[クロスフェーダー]の[Cut Lag]の設定**

クロスフェーダー両端の遊び（カットラグ）を調整することができます。

0.3 mm から5.5 mm まで0.1 mm 単位で調整することができます。

- 初期設定では、1.0 mm に設定されています。
- カットラグの数値は目安であり、この数値通りではない場合があります。

### **[Level Meter]の設定**

ミキサー部にあるレベルメーターにチャンネルレベルメーターまたはマスターレベルメーターどちらを表示するかを設定することができます。

- 初期設定時は、**[Channel Level]** に設定されています。

**[Channel Level]**：チャンネルレベルメーターの情報を表示します。

**[Master Level]**：マスターレベルメーターの情報を表示します。

# rekordbox for iOS/Android を使用する

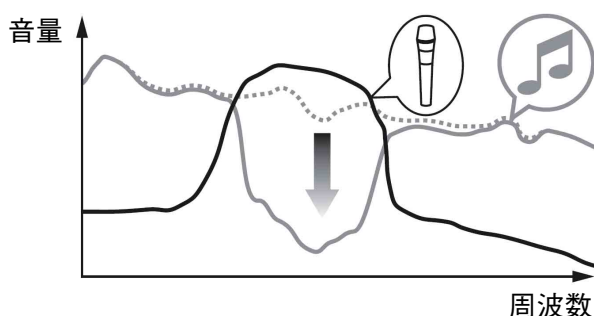
## [Mic入力]の設定

- **[エフェクトモード]**: マイク音声をモバイルデバイスを経由して本機から出力することができます。これにより、マイク音声にrekordbox for iOS/AndroidのマイクFXなどの効果を加えることができます。
- **[低レイテンシーモード]**: マイク音声をモバイルデバイスを経由せずに本機から出力することができます。これにより、マイク音声にrekordbox for iOS/AndroidのマイクFXなどの効果を加えることができませんが、エフェクトモードに比べて音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが低減できます。

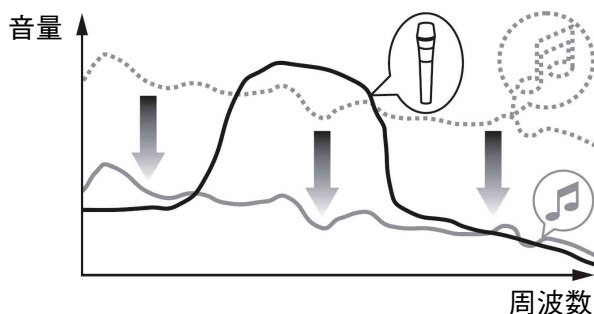
## [Talkoverモード]の設定

トークオーバーモードを切り替えます。

- **[Advanced]**: マイクチャンネル以外の音声（音楽・効果音）が、トークオーバーレベルの設定値に従って中音域だけ減衰して出力されます。



- **[Normal]**: マイクチャンネル以外の音声（音楽・効果音）が、トークオーバーレベルの設定値に従って減衰して出力されます。



## [Talkoverレベル]の設定

トークオーバー機能の音声減衰レベルを設定します

設定値: -6 dB / -12 dB / -18 dB / -24 dB

# rekordbox for iOS/Android を使用する

## SMART FADER の設定

SMART FADER で使用するフェーダーを選択できます。

- **【クロスフェーダーとチャンネルフェーダー】:**

クロスフェーダーとチャンネルフェーダーのいずれかの操作によって SMART FADER 機能が動作します。

- **【クロスフェーダー】:**

クロスフェーダー操作によって SMART FADER 機能が動作します。

- **【チャンネルフェーダー】:**

チャンネルフェーダー操作によって SMART FADER 機能が動作します。

**[SMART FADER 推奨カーブを使用する]** を ON にすると SMART FADER 推奨カーブで動作します。

## **[Master 出力] の [モノラル/ステレオ切替え] 設定**

**[MASTER]** 出力端子から出力される音声のモノラル音声／ステレオ音声を切替えることができます。

- **【モノラル】:** モノラル音声で出力されます。

- **【ステレオ】:** ステレオ音声で出力されます。

## **[Master 出力] の [ピークリミッター] 設定**

**[MASTER]** 出力端子から出力される音声の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。

- ON: マスター出力のピークリミッターが有効です。

- OFF: マスター出力のピークリミッターが無効です。

---

---

# 本機の設定を変更する

---

---

## ユーティリティーモードを起動する

DJ アプリケーションを閉じてからユーティリティーモードを起動させてください。

rekordbox for Mac/Windows と rekordbox for iOS/Android を接続して使用する場合は、rekordbox for Mac/Windows および rekordbox for iOS/Android の設定画面で変更してください。

➡ 「rekordbox for Mac/Windows で設定を変更する」 (79 ページ)

➡ 「rekordbox for iOS/Android で設定を変更する」 (139 ページ)

(デモモードについては本機で設定してください。)

### 1 USBケーブルを抜く

### 2 左側デッキの[SHIFT]ボタンと[PLAY/PAUSE ▶/■]ボタンの両方を押しながら、USBケーブルを接続する

ユーティリティーモードが起動します。

### 3 設定を変更したい項目について本機を操作する

設定を変更すると変更内容が保存されます。設定を保存中は左側デッキのパフォーマンスパッドの下一列が点滅するので、消灯するまでお待ち下さい。点滅中にUSBケーブルが抜かれると変更内容が保存されない場合があります。

### 4 USBケーブルを抜いて、本機の電源をオフにする

ユーティリティーモードを終了します。

## ユーティリティーモード

ユーティリティーモードでは以下の設定を変更できます。

- バックスピンレングス
- フェーダースタート
- クロスフェーダーリバーズ
- クロスフェーダーカットラグ
- デモモード

### ❖ バックスピンレングスの設定を変更する

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

**左側デッキのパフォーマンスパッド5～7のいずれかを押す**

- パッド5点灯：ショートが設定されます。
- パッド6点灯：ノーマルが設定されます。(初期設定)
- パッド7点灯：ロングが設定されます。

### ❖ フェーダースタートの設定を変更する

フェーダースタート機能の設定を変更できます。

**左側デッキの[HOT CUE]モードボタンを押す**

- [HOT CUE]モードボタン点灯：有効になります。(初期設定)
- [HOT CUE]モードボタン消灯：無効になります。

### ❖ クロスフェーダーリバーズの設定を変更する

クロスフェーダーの左右を切替えることができます。

**左側デッキの[PAD FX1]モードボタンを押す**

- [PAD FX1]モードボタン点灯：有効になります。  
クロスフェーダーの左側が[DECK2]、右側が[DECK1]になります。
- [PAD FX1]モードボタン消灯：無効になります。(初期設定)  
クロスフェーダーの左側が[DECK1]、右側が[DECK2]になります。

## ❖ クロスフェーダーカットラグの設定を変更する

クロスフェーダー両端の遊び（カットラグ）を調整します。

1（0.3 mm）から53（5.5 mm）まで0.1 mm単位で調整できます。

- カットラグ設定に対する上記カットラグの位置は目安であり、実際に音量がゼロになる位置と一致しない場合があります。
- 初期設定では8（1 mm）に設定されています。

## ロータリーセレクターを回す

チャンネルレベルインジケータとパフォーマンスパッドの点灯状態で現在の設定値（1 から53）を表示します。

- 右側デッキのパフォーマンスパッドの点灯個数：10の位
  - チャンネル1、チャンネル2 のチャンネルレベルインジケータの点灯個数の和：1 の位
- 例：右側デッキのパフォーマンスパッドの点灯個数が2個、チャンネル1 のチャンネルレベルインジケータの点灯個数が3個、チャンネル2 のチャンネルレベルインジケータの点灯個数が5個、の場合、設定値は、28 ( $20 + 3 + 5 = 28$ ) になります。

## ❖ デモモードの設定を変更する

本機は通常の使用状態で設定された時間内に本機の操作がない場合、デモモードを開始します。

- デモモード開始後、いずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードを解除することができます。

## 左側デッキのパフォーマンスパッド1～4のいずれかを押す

- パッド1点灯：デモモード無効
- パッド2点灯：1分間操作が無いときにデモモードを開始
- パッド3点灯：5分間操作が無いときにデモモードを開始
- パッド4点灯：10分間操作が無いときにデモモードを開始（初期設定）

## BLUETOOTH® MIDI デバイス名を変更する

本機を複数台ご使用される場合に、モバイルデバイスから製品を特定できるように設定することができます。

本機とモバイルデバイスを Bluetooth で接続する際、モバイルデバイスに表示される Bluetooth MIDI デバイス名を個別に変更することができます。

- Bluetooth MIDI デバイス名の表示は本機を起動する毎にリセットされます。

### 1 USB ケーブルを抜いて、本機の電源をオフにする

### 2 左または右デッキのいずれかのパッドを押しながら、USB ケーブルを接続する

Bluetooth MIDI デバイス名とパフォーマンスパッドの関係は以下のようになっています。

デッキ 1

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1 : DDJ-FLX4\_1、2 : DDJ-FLX4\_2、3 : DDJ-FLX4\_3、4 : DDJ-FLX4\_4、  
5 : DDJ-FLX4\_5、6 : DDJ-FLX4\_6、7 : DDJ-FLX4\_7、8 : DDJ-FLX4\_8

デッキ 2

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1 : DDJ-FLX4\_9、2 : DDJ-FLX4\_10、3 : DDJ-FLX4\_11、4 : DDJ-FLX4\_12、  
5 : DDJ-FLX4\_13、6 : DDJ-FLX4\_14、7 : DDJ-FLX4\_15、8 : DDJ-FLX4\_16

## 3 rekordbox for iOS/Android と本機を Bluetooth 接続する

➡ 「Bluetooth で接続する」 (109 ページ)

---

---

# その他

---

---

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目およびPioneer DJサポートページへアクセスして、**[DDJ-FLX4]の[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

[pioneerdj.com/support/](http://pioneerdj.com/support/)

また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を入れなおすことで正常に動作することがあります。

---

## 電源

### ❖ 本機の電源が入らない

- USB電源アダプター（モバイルバッテリー）およびUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」（38 ページ）を参照してください。
- USB電源アダプター（モバイルバッテリー）またはUSBケーブルを別のものに交換して確認してください。

### ❖ 電源が勝手に切れる

- モバイルバッテリーを使用する場合は、省電力機能のないものをお使いください。また、最大電圧24V 以下、かつDC 9V 3Aに対応したものを使用してください。接続に必要なケーブルは、USB認証品を使用してください。

### ❖ 両デッキの[IN]ボタンと[OUT]ボタンが点滅して動作しない

- USB端子（電源専用）に接続したUSB電源アダプター、モバイルバッテリーの供給能力が不足している可能性があります。DC 9V 3Aに対応した機器を使用してください。

## 接続

### ❖ 本機がPC/Macで認識されない

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」(38 ページ) を参照してください。
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。
- スクリーンセーバーや常駐ソフトも含め、すべてのアプリケーションを終了してください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Mac の安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)
- 外付けハードディスクや、一部機種ではキーボード等を取り外してください。内蔵ハードディスクだけの状態にして、確認してください。
- お使いのPC/Mac にUSB 端子が複数ある場合は、他のUSB 端子で確認してください。
- Macをお使いの場合、macOSのユーティリティソフトウェア**[Audio MIDI 設定]**を起動し、メニューバーの**[ウインドウ] > [オーディオ装置を表示]**で**[DDJ-FLX4 Audio Out]**が表示されるか確認してください。
- Macをお使いの場合、サウンド設定が正しく設定されていない可能性があります。本機と接続しているUSBケーブルを外してから、macOSのユーティリティソフトウェア**[Audio MIDI 設定]**を起動し、**[MIDI ウインドウ]**または**[MIDI スタジオ]**を表示させます。**[DDJ-FLX4]**アイコンを選択してから**[装置を削除]**をクリックします。(アイコンは**[DDJ-FLX4]**ではなく、**[USB MIDI 装置]**になっている場合があります。その場合は**[USB MIDI 装置]**を選択します。) 再度、本機とUSBケーブルで接続すると**[DDJ-FLX4]**アイコンが表示されます。
- Windowsをお使いの場合、**[デバイスマネージャー] > [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー]**下に**[DDJ-FLX4]**が表示されるか確認してください。

### ❖ USB接続時に本機がモバイルデバイスで認識されない

- USB電源アダプタ (モバイルバッテリー) およびUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」(38 ページ) を参照してください。
- USB電源アダプタ (モバイルバッテリー) またはUSBケーブルを別のものに交換して確認してください。

### ❖ Bluetooth接続できない / Bluetooth接続が途切れる

- 2.4 GHz帯の電磁波を発生する機器 (電子レンジ、無線LAN、その他のBluetooth機器など) が近くにある場合は、本機から離して設置するか、それらの機器の使用をお止めください。

- 接続するモバイルデバイスとの距離が離れている場合は、本機に近づけてください。また、間が壁や障害物等でさえぎられている場合は、モバイルデバイスや本機の位置を変えてください。

## 音

### ❖ 音が出ない/音が小さい/音がひずむ

- **[TRIM]**ノブ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび**[MASTER LEVEL]**ノブを正しい位置に設定してください。「トラックを再生する」(52 ページ) (89 ページ) (113 ページ) を参照してください。
- 接続ケーブルを正しく接続してください。「接続する」(38 ページ) を参照してください。
- 端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
- 音声のとぎれる時は、DJソフトウェアのバッファサイズの値を適切に設定してください。

### ❖ マイクの音が出ない

- **[MIC ATT.]**ノブ、**[MIC LEVEL]**ノブを正しい位置に設定してください。「各部の名称とはたらき」(36 ページ) (27 ページ) (29 ページ) を参照してください。

### ❖ ヘッドホンの音が小さい

- 本機はUSB ポートからの給電が不足すると、ヘッドホンの音量に制限を加えます。DJプレイに使用しない機器が別のUSB ポートに接続されている場合は、それらを抜いて電力を確保してください。

## rekordbox for Mac/Windows

### ❖ rekordbox の動作が不安定になる

- rekordbox のバージョンを最新にしてください。「rekordbox for Mac/Windows をインストールする」(45 ページ) を参照してください。
- rekordbox 以外のソフトウェアを使用している場合は、そのソフトウェアを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウィルス対策ソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。( ウィルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Mac の安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。 )
- PC/Mac に本機以外のUSB 機器が接続されている場合は、外してください。

- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。
- ノートパソコンをバッテリーで駆動している場合は、ACアダプターから電源供給してください。

### ❖ BPMやビートグリッドが正しく表示されていない/ビートグリッドがずれている

- BPM解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドやBPMを設定してください。
- ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法の詳細については、rekordboxの「操作説明書」をご覧ください。

### ❖ rekordboxを使っているとき再生中の音声のとぎれる

- rekordboxの[環境設定]>[オーディオ]のバッファサイズの値を適切に設定してください。

### ❖ フェーダースタート機能が動作しない

- キューを設定してください。
- フェーダースタートの設定を有効にするためには、rekordboxの[環境設定]>[コントローラー]の[ミキサー]タブを選択して[フェーダースタート]のチェックボックスにチェックを入れてください。

### ❖ 本機を接続していないと録音機能が使えなくなる

- サブスクリプションプランを契約していない場合は、本機との接続なしに録音機能を使用することはできません。本機、もしくは他のHardware Unlock対象機器を接続するか、サブスクリプションプランを契約してください。

---

## Serato DJ Lite

### ❖ Serato DJ Liteの動作が不安定になる

- Serato DJ Liteのバージョンを最新にしてください。「Serato DJ Liteをインストールする」(82 ページ)を参照してください。
- Serato DJ Lite以外のソフトウェアを使用している場合は、そのソフトウェアを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルス対策ソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてください。(ウイルス対策ソフト等を終了する場合は、PC/Macの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)

- PC/Macに本機以外のUSB機器が接続されている場合は、外してください。
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。
- ノートパソコンをバッテリーで駆動している場合は、ACアダプターから電源供給してください。

### ❖ ライブラリにトラックが表示されない

- ライブラリにトラックがない場合は、音楽ファイルをインポートしてください。インポート方法の詳細については、「トラックをインポートする」(87 ページ)を参照してください。
- トラックが入っていないcrateまたはsubcrateを選んでいる場合は、トラックが入っているcrateまたはsubcrateを選ぶか、crateまたはsubcrateにトラックを追加してください。

### ❖ ライブラリにiTunesの曲が表示されない

- [SETUP]メニューの[Library + Display]タブの中の[Show iTunes Library]にチェックを入れてください。すでにチェックが入っている場合は、一旦チェックを外してから再度チェックを入れてください。インポート方法の詳細については、Serato DJ Liteのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- トラックが入っていないcrateまたはsubcrateを選んでいる場合は、トラックが入っているcrateまたはsubcrateを選ぶか、crateまたはsubcrateにトラックを追加してください。

### ❖ Serato DJ Liteのバーチャルデッキが表示されない（プラクティスモード（練習モード）で表示される）

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」(38 ページ)を参照してください。
- Serato DJ Liteのバージョンを最新にしてください。「Serato DJ Liteをインストールする」(82 ページ)を参照してください。

### ❖ フェーダースタート機能が動作しない

- テンポラリキューを設定してください。
- ユーティリティモードでフェーダースタートの設定を有効にしてください。「フェーダースタートの設定を変更する」(143 ページ)を参照してください。

### ❖ BPM が表示されない/SYNC機能、オートループ機能が動作しない

- [Analyze Files] ボタン横の歯車アイコンをクリックし、[Set BPM]にチェックを入れてから、曲を解析してください。曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ Liteのソフトウェアマニュアルをご覧ください。

### ❖ BPM が正しく表示されていない

- BPM解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でBPMを設定してください。

### ❖ クロスフェーダーが効かない

- Serato DJ Lite のクロスフェーダーの設定項目にある **[Disable]** を解除してください。

## ----- rekordbox for iOS/Android

### ❖ Android 端末接続時、ステレオ出力が正常に行われず、MASTER 出力音声 が 乱れ ヘッドホン 音声 が 無音 になる

- Android 端末と USB 接続をすると、一部の端末では本機と正しく接続されず、正常なステレオ出力がされない場合があります。その際は本体背面の **[Android MONO/STEREO]** スイッチを **[MONO]** にすると正しく出力できる場合があります。

### ❖ USB ケーブル 接続時に モバイルデバイス から 音声 が 出力 されない

- USB ケーブル接続時は、モバイルデバイスから音声は出力されません。  
本機の **[MASTER]** 出力端子にパワードスピーカー、パワーアンプなどの機器を接続してください。

### ❖ Bluetooth 接続時に 本機の **[MASTER]** 出力端子やヘッドホン出力端子から 音声 が 出力 されない

- Bluetooth 接続時は、本機の **[MASTER]** 出力端子やヘッドホン出力端子から音声を出力することができません。モバイルデバイスから音声は出力されます。  
USB ケーブルで接続時は、本機の **[MASTER]** 出力端子やヘッドホン出力端子から音声を出力することができます。

### ❖ Bluetooth 接続時に 本機に接続したマイクの 音声 が 出力 されない

- Bluetooth 接続時は、**[MASTER]** 出力端子やヘッドホン出力端子からマイクの音声を出力することができません。  
USB ケーブルで接続時は、本機の **[MASTER]** 出力端子やヘッドホン出力端子から音声を出力することができます。

### ❖ rekordbox の動作が不安定になる

- rekordbox のバージョンを最新にしてください。「rekordbox for iOS/Android をインストールする」(106 ページ) を参照してください。
- rekordbox 以外のアプリを使用している場合は、そのアプリを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルス対策ソフト、省電力モードなどを無効にしてみてください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、モバイルデバイスの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)

### ❖ BPM やビートグリッドが正しく表示されていない/ビートグリッドがずれている

- BPM 解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドやBPM を設定してください。

### ❖ フェーダースタート機能が動作しない

- キューを設定してください。
- フェーダースタートの設定を有効にするためには、rekordbox の[設定]>[DDJ-FLX4の設定]>[フェーダースタート]をオンにしてください。

## 仕様

### 本体一般

#### 定格電源

USB 電源アダプター使用時 ..... DC 9 V、3 A

USB バスパワー使用時 ..... DC 5 V、500 mA

本体質量 ..... 2.1 kg

最大外形寸法 (W × D × H) ..... 482 × 272.8 × 59.2 mm

許容動作温度 ..... + 5 °C ~ + 35 °C

許容動作湿度 ..... 5 % ~ 85 % (結露のないこと)

### オーディオ部

サンプリングレート ..... 44.1 kHz / 48 kHz

A/D、D/A コンバーター ..... 16bit / 24bit

#### 周波数特性

**USB、MIC** ..... 20 Hz ~ 20 kHz

S/N 比 (定格出力時、A-WEIGHTED)

**USB** ..... 103 dB

全高調波歪率 (20 Hz ~ 20 kHzBW)

**USB** ..... 0.005 %

入力インピーダンス

**MIC** ..... 3 kΩ 以上

出力インピーダンス

**MASTER** ..... 1 kΩ 以下

ヘッドホン ..... 10 Ω 以下

定格出力レベル / 負荷インピーダンス

**MASTER** ..... 2.1 Vrms/10 kΩ

## 入力 / 出力端子

### MIC 入力端子

1/4" TS ジャック ..... 1 系統

### MASTER 出力端子

RCA ピンジャック ..... 1 系統

### ヘッドホン出力端子

3.5 mm ステレオミニジャック ..... 1 系統

### USB 端子

USB Type-C 端子 ..... 2 系統

### Bluetooth® 部

無線方式 ..... Bluetooth Low Energy

最大通信距離 ..... 見通しの良い状態で約 10 m\*

使用周波数帯域 ..... 2.4 GHz 帯

変調方式 ..... FH-SS (周波数ホッピングスペクトラム拡散方式)

\* 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

---

## 他のDJソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやノブなどの操作情報を汎用のMIDI形式でも出力します。MIDI対応のDJソフトウェアをインストールしたPC/MacとUSBケーブルを使って接続すると、本機でDJソフトウェアを操作できます。(DJアプリケーションのMIDIに関する設定を行う必要があります。)

- 詳しくは、お使いのDJソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

---

## MIDIメッセージについて

本機のMIDIメッセージについては、「MIDIメッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDIメッセージ一覧」は下記のURLより入手できます。

[pioneerdj.com/](http://pioneerdj.com/)

## 商標および登録商標について

- rekordbox™は、AlphaTheta株式会社の商標または登録商標です。
  - Apple、Apple ロゴ、Apple Music、Finder、iPad、iPadOS、iTunes、Mac、MacBook、MacBook Pro、macOS および OS X は米国その他の国や地域で登録された Apple Inc. の商標です。
  - App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
  - Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
  - iOS は、Cisco Systems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
  - Google Play、Google Play ロゴおよび Android は Google LLC の商標です。
  - Serato DJ Lite、Serato DJ Intro、Serato DJ Pro、Serato DJ、および Scratch Live は、Serato Limited 社の登録商標です。
  - Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、AlphaTheta 株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
- 他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。
- その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

### MP3の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利目的での（収益が発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またはその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためには、ライセンスされておりません。このような使用には、個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

---

## ソフトウェアのライセンス

### Apache

Copyright (c) 2009-2019 ARM Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

[www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0](http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0)

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

### BSD

The BSD-3-Clause License

Copyright (c) 2015, Freescale Semiconductor, Inc.

Copyright 2016-2020 NXP

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,

INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## 著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2022 AlphaTheta株式会社

禁無断転載

<DRJ1092-A>